FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix M603

準備編

基本編

応用編 撮影

応用編 再生

設定編

接続編

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ ファインピックスM603の使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/または http://www.finepix.com/

BL00168-101(1) J

目　次

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメディア（xDピクチャーカードおよびマイクロドライブ）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- iMac、iBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Microdriveは、米国IBM Corporationの商標です。
- xDピクチャーカードおよびその他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

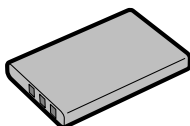
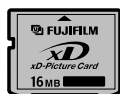
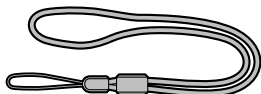
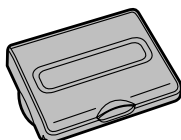
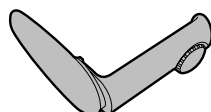
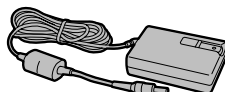
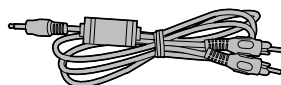
カメラの特長/付属品

カメラの特長

- 有効画素数310万画素
- “スーパーCCDハニカム”搭載により、記録画素数最大2832×2128（603万画素）
- 低分散非球面レンズを採用した高性能光学2倍ズームを搭載
- スーパーCCDハニカムの特長を生かした4.4倍ハニカムズーム（光学2倍ズームと1Mモード時最大約2.2倍のなめらかな（多段階）デジタルズーム機能併用）
- 小型軽量アルミニウム・マグネシウム合金ボディ
- 起動約2秒、撮影間隔最短約1秒と軽快な操作感
- マクロ撮影機能付きオートフォーカス
- 視野率100%の2.5型11.8万画素低温ポリシリコンTFT液晶モニター
- xDピクチャーカード用とマイクロドライブ用のダブルスロット
- ISO800・1600の高感度撮影可能（1Mモードのみ）
- 撮影結果の確認に便利なプレビュー機能
- 撮影直後に画像を約2秒間自動的に再生する画像確認機能
- 再生ズーム機能（静止画時最大18倍）
- 連写機能（最短約0.2秒間隔で最大4コマ撮影できる連写、最大25回シャッターを切ったうちの最後の4コマを記録するサイクル連写、1M（1280×960ピクセル）の画像を最大40コマまで撮影できるMEGA連写）
- 動画撮影可能（最大640×480ピクセル・30フレーム/秒、モノラル音声付き）
- シャッターを切るまでの最大5秒間の動画（映像効果と静止画を含む）と静止画を作成するプレムービー
- 動画から必要な部分を取り出し、記録する静止画切り出し機能、動画切り出し機能
- 撮影したときの記録に便利なボイスメモ機能
- クレードル（別売）に置くだけで簡単充電、簡単パソコン接続
- USB接続により簡単高速に画像ファイル転送が可能
- デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

  ＊DCFは電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera system」の略称です。

付属品

- 充電式バッテリー NP-60（1個）
  ソフトケース付き

- xD ピクチャーカード 16MB（1枚）
  付属品：静電気防止ケース（1個）

- ストラップ（1本）

- 液晶フード（1個）

- アクショングリップ（1個）

- ACパワーアダプター AC-5VS
  接続コード：約2m（1台）

- A/Vケーブル
  φ2.5mmミニミニプラグ×ピンプラグ：
  約1.5m（1本）

- USBインターフェースセット（1式）
  - CD-ROM：Software for FinePix SX（1枚）
  - FinePix M603専用USBケーブル（1本）
  - ソフトウェア取扱ガイド（1部）
- 使用説明書（本書1部）
- 安全上のご注意（1部）
- 保証書（1部）

各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

ズームレバー（P.17、24）
シャッターボタン
セルフタイマーランプ（P.33）
ストロボボタン（P.25）
マクロボタン（P.25）
ストラップ取り付け部
ストロボ（P.25）
マイク
ストロボ調光センサー
レンズ部
アクショングリップ取り付け部（P.16）
バッテリーカバー（P.8、9）

BACKボタン（P.18）
十字（▲▼◀▶）ボタン（P.18）
液晶モニター（LCD）
液晶フード取り付け部（P.15）
DISP（表示）ボタン（P.17、24、27）
A/V OUT（音声/映像出力）端子（P.69）
DC IN 5V（電源入力）端子（P.12）
MENU/OKボタン（P.18）
三脚用ねじ穴
接続端子/接続端子カバー（P.70、71）
バッテリーカバーロック解除つまみ（P.8）
スロットカバー（P.10、11）
POWER（電源）ボタン（P.13）
インジケーターランプ（P.22）

【モードスイッチ】
- 静止画撮影モード（P.20）
- 再生モード（P.27）
- 動画撮影モード（P.40）

スピーカー
xDピクチャーカード用スロット（P.11）
マイクロドライブ用スロット（P.11）
マイクロドライブイジェクトボタン（P.11）

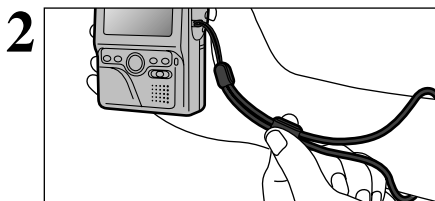
ストラップの取り付け方

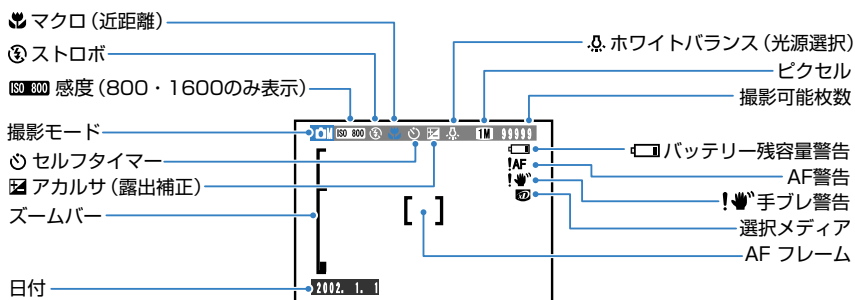
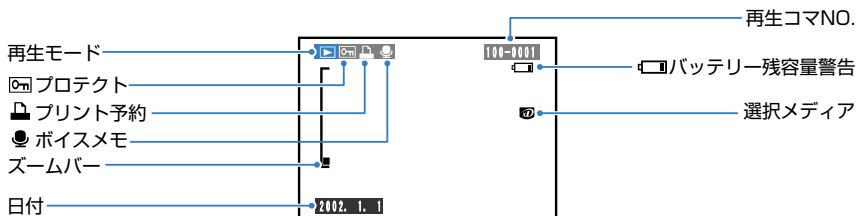
❶❷の順にストラップを取り付けます。

1

ストラップの使い方

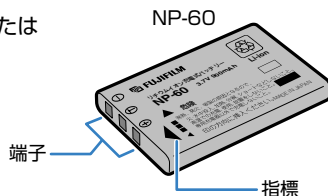
ストラップに手首を通します。

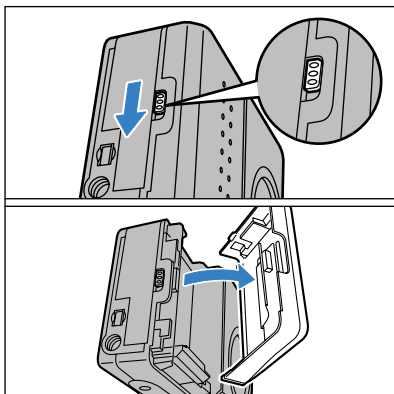
2

長さ調節止め具をスライドし、落とさないように手首に固定します。

液晶モニターの文字表示例：静止画撮影モード

液晶モニターの文字表示例：再生モード

バッテリーを入れます

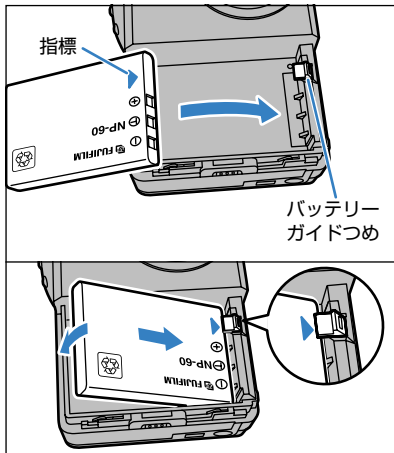
使用するバッテリー

必ず専用の充電式バッテリー NP-60/NP-120（別売）をお使いください。
弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。

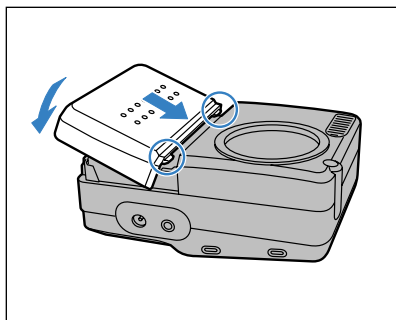
充電式バッテリー：
NP-60　1個（付属）または
NP-120　1個（別売）

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。取り出せなくなることがあります。
- バッテリーについてのご注意は75、76ページをご参照ください。

1

バッテリーカバーロック解除つまみをスライドしたまま、バッテリーカバーを開けます。

バッテリーカバーは、電源を入れたまま開けないでください。メディアまたは画像ファイルなどが破壊されることがあります。

2

バッテリーの入れる向きを確認します。
カメラのバッテリーガイドつめと、バッテリーの指標“▶”の向きを合わせます。

バッテリーがバッテリーガイドつめの下になるように挿入し、バッテリーをカメラに入れます。

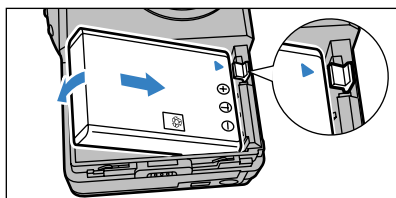
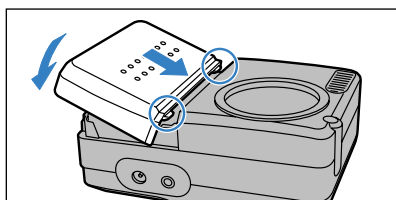
3

バッテリーカバーのつめをカメラに合わせてから、バッテリーカバーを閉めます。
きちんとロックされたことを確認してください。

! バッテリーカバーを必ず閉めてから電源を入れてください。

◆撮影が終了し、バッテリーを取り出したり、交換したいときは◆

必ず電源を切ってからバッテリーカバーを開け、バッテリーを取り出してください。

◆大容量バッテリー NP-120（別売）を使用するときは◆

充電式バッテリー NP-120を使用すると、NP-60に比べ約80%ほど作動可能枚数/時間が多くなります。

バッテリーがバッテリーガイドつめを押し退けるように挿入し、バッテリーをカメラに入れます。

バッテリーカバーのつめをカメラに合わせてから、バッテリーカバーを閉めます。

メディアを入れます

本機では記録媒体として、xDピクチャーカードまたはマイクロドライブを使用できます。

●xDピクチャーカードとマイクロドライブを同時にセットした場合は、SET－UPの「メディア」で設定されているメディアに記録されます（➡設定編 66ページ）。
●本機で両メディア間のコピーは行えません。

xDピクチャーカード（別売）

●DPC-16（16MB）
●DPC-32（32MB）
●DPC-64（64MB）
●DPC-128（128MB）

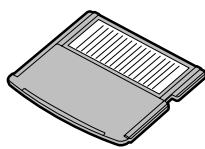
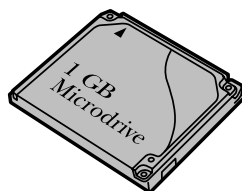
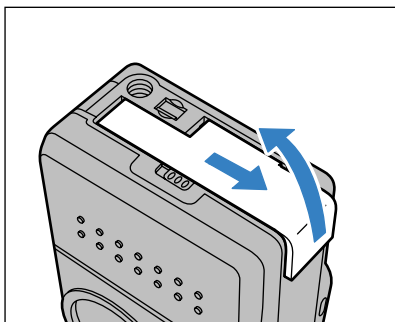



表　　裏

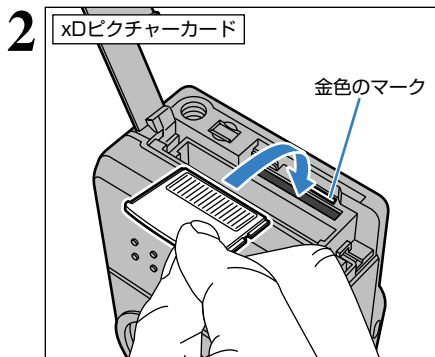
! 本カメラでの動作保証は弊社製xDピクチャーカードのみとなります。
! xDピクチャーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
! xDピクチャーカードについてのご注意は77ページをご参照ください。

マイクロドライブ（別売）

●マイクロドライブキット MK-1（340MB）
●マイクロドライブキット MK-2（1GB）

! マイクロドライブは小型軽量のハードディスク・ドライブです。回転系記録媒体なので、xDピクチャーカードに比べ振動や衝撃に強くありません。マイクロドライブを使用する場合は、カメラに振動や衝撃を与えないよう十分にご注意ください（特に記録中や再生中にはご注意ください）。
! マイクロドライブについてのご注意は77ページをご参照ください。

1

電源が切れていること（インジケーターランプが消灯）を確認してから、スロットカバーを開けます。

! 電源が入った状態でスロットカバーを開けると、保護のため電源が切れます。
! スロットカバーを持ってカメラを持ち上げたりしないでください。
! スロットカバーは開き切りませんので、メディアの出し入れの際は、カバーを指で押さえて全開にしてください。

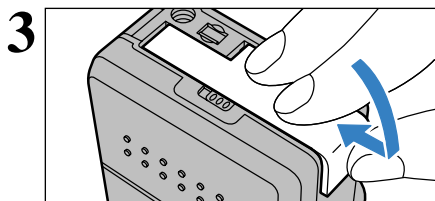
2

xDピクチャーカード

金色のマーク

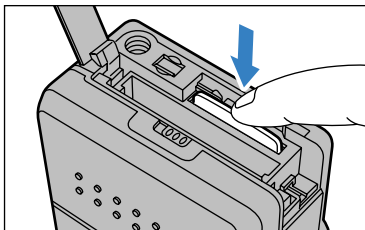
xDピクチャーカードスロットの金色のマークと、xDピクチャーカードの金色の接触面を同じ向きに合わせて、確実に奥まで差し込みます。

指標どうしが向き合うようにして、マイクロドライブスロットにマイクロドライブを確実に奥まで差し込みます。

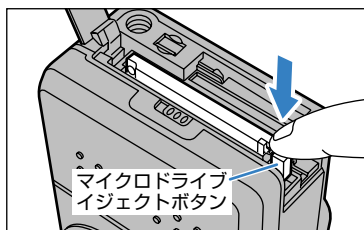
- マイクロドライブやxDピクチャーカードのスロットに適合メディア以外を入れないでください。故障の原因となります。
- 向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。
- メディアが確実に奥まで入っていないと“カードエラー”が表示されます。

3

スロットカバーの中央部分を押さえながらスライドさせて閉めます。

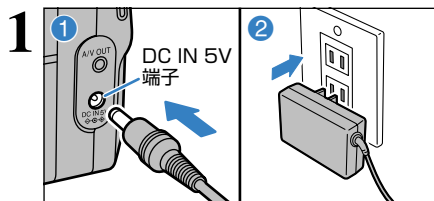
◆xDピクチャーカードの交換◆

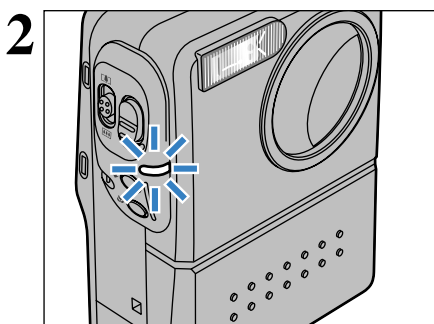
xDピクチャーカードを押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れてxDピクチャーカードが押し出されます。
押し出されたあと、xDピクチャーカードを引き出すことができます。

- xDピクチャーカードを保管するときは、必ず専用のケースに入れてください。
- ロックが外れた直後にxDピクチャーカードから急に指を離すと、xDピクチャーカードが飛び出す場合がありますので注意してください。

◆マイクロドライブの交換◆

スロットカバーを開け、マイクロドライブイジェクトボタンを押し、マイクロドライブを取り出します。

- マイクロドライブを保管するときは、必ず専用の保護ケースに入れてください。

バッテリーを充電する

1

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを"DC IN 5V"端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

2

セルフタイマーランプが点灯［赤］し、バッテリーの充電が開始されます。完了するとセルフタイマーランプが消灯します。

●使い切ったバッテリーのフル充電時間
（環境気温23℃±2℃のとき）
NP-60：約3時間
NP-120（別売）：約5時間

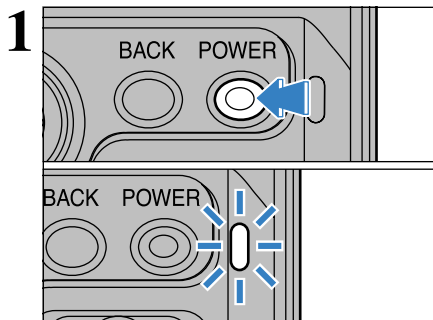
ACパワーアダプターで使う

パソコンへ撮影した画像等を転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、バッテリーの消耗を気にせず撮影・再生することができます。

●使用可能なACパワーアダプター
付属品　　　：AC-5VS（推奨）
弊社製互換品：AC-5VH、AC-5VHS

- ！必ず左記の弊社製品をご使用ください。
- ！ACパワーアダプターについてのご注意は76ページをご参照ください。
- ！ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、メディアの破損やパソコン接続時誤作動の原因になります。
  電源を切らずにACパワーアダプターを取り外すと、画面表示が乱れることがありますが、故障ではありません。なお、カメラの電源をON/OFFするともとにもどります。
- ！低温時は充電時間が長くなることがあります。
- ！充電時にセルフタイマーランプが点滅したときは、充電異常のため充電できません。その場合は80ページをご参照ください。
- ！充電中に電源を入れると充電が中断されます。
- ！AC-5VS、AC-5VH、AC-5VHSは海外でも使用できます（➡76ページ）。
- ！別売のバッテリーチャージャー BC-65を使用すると充電時間を短縮できます（➡74ページ）。

電源のON/OFF・日時の設定

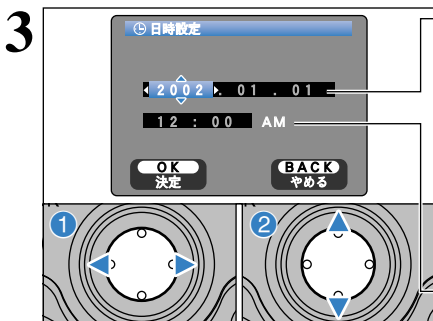
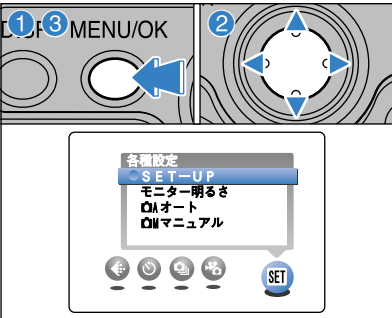
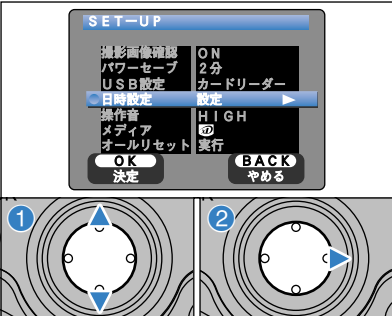
1

電源をON/OFFするにはPOWER（電源）ボタンを押します。電源を入れるとインジケーターランプ［緑］が点灯します。

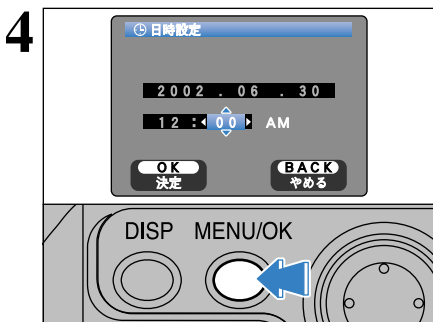
"📷/🎥" モードのときはレンズカバーが開き、レンズ部が動きます。精密部品のため、レンズ部を手で押さえないでください。
"レンズカバーが開いていません" "フォーカスエラー" "ズームエラー" が表示され誤作動や故障の原因になります。
また、レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

2

初めて電源を入れると、日付がクリアされています。"MENU/OK" ボタンを押して日時を設定します。

❗ あとで設定するときは "BACK" ボタンを押します。
❗ 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

3

❶ "◀▶" で年・月・日・時・分を選びます。
❷ "▲▼" で修正します。

❗ "▲" または "▼" を押し続けると数字が連続して変わります。
❗ 時刻表示で "12:00" を越えると、自動的にAM/PMが切り換わります。

4

日時を設定したら、"MENU/OK" ボタンを押します。
実行すると撮影または再生モードになります。
SET−UP画面に戻った場合はもう一度 "MENU/OK" ボタンを押します。

❗ 設定した日時は、ACパワーアダプターを接続またはバッテリーを入れて約1日以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約1日間保持されます。

日時を修正するには

1

❶“MENU/OK”ボタンを押します。
❷“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“SET−UP”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

2

❶“▲▼”で“日時設定”を選びます。
❷“▶”を押します。

日時の設定方法は13ページをご参照ください。

◆バッテリー残容量の確認◆

電源を入れ、画面（液晶モニター）にバッテリー残容量表示（ ・ ・ ）がされていないことを確認します。何も表示されていないときは、バッテリーの残容量は十分です。

- “ ”白点灯：バッテリーの残容量は約半分以下です。
- “ ”赤点灯：バッテリーの残容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、バッテリーを交換するか充電をおすすめします。
- “ ”赤点滅：バッテリーの残容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。バッテリーを交換するか充電をしてください。

! NP-120（別売）使用時の場合は“ ”（白点灯）から“ ”（赤点滅）になるまでの時間がNP-60使用時よりばらつくことがあります。

! 上記は撮影モードでの目安です。ボイスメモ再生などの再生モードでは“ ”から“ ”になるまでの時間が短くなることがあります。

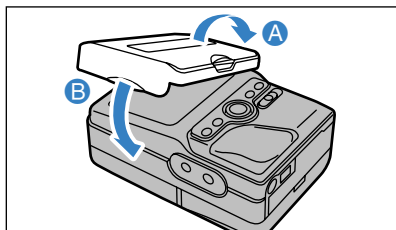
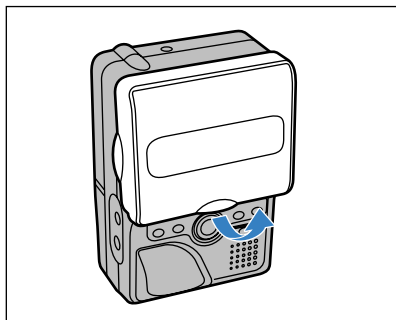
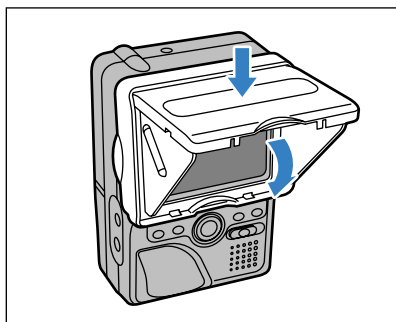
! 残容量のないバッテリー（ 赤点滅）は、レンズが収納されないで電源が切れるなど故障の原因となるため、必ず充電をしてから使用してください。

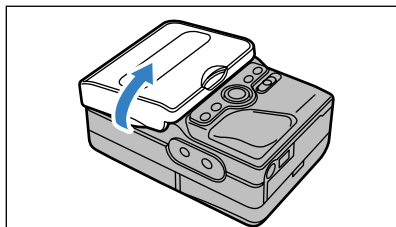
◆パワーセーブ機能◆

機能有効時は、約30秒間操作をしないと画面の表示が消え、消費電力を抑えます（➡68ページ）。その後しばらく放置（2分間または5分間）すると自動的に電源が切れます。再度、電源を入れるには、POWER（電源）ボタンを押します。

液晶フードの取り付けと使いかた

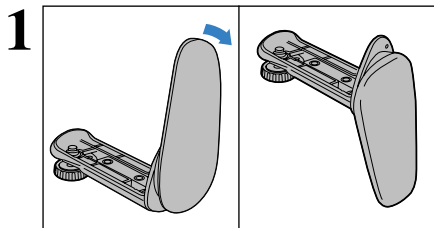
液晶フードは明るい場所の撮影で、液晶モニターをくっきりと見やすくします。また、収納時には液晶モニターを保護するカバーとして機能します。

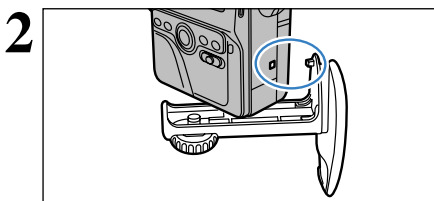
1

液晶フードのⒶ側を“液晶フード取り付け部”に引っ掛けてから、Ⓑ側を押してカメラに取り付けます。

液晶フードを開けるには、下部に指を掛け手前に持ち上げるようにします。ロックが外れて液晶フードが跳ね上がります。

液晶フードを閉めるには、液晶フードを押し下げると自動的に側面が内側に折れます。ロックが掛かるまで押し込んでください。

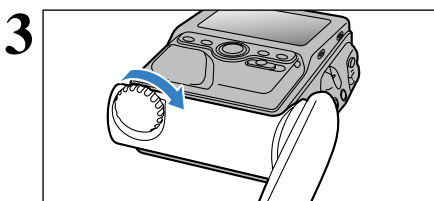
◆液晶フードを取り外すには◆

液晶フードの左部に指をかけ、持ち上げるようにして取り外します。

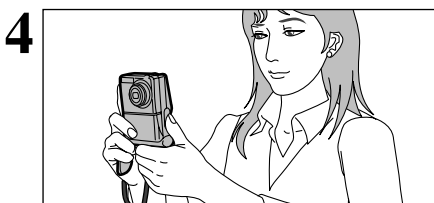
アクションググリップの取り付けと使いかた

アクショングリップはカメラを構えやすくし手ブレの影響を軽減します。また、長時間の撮影でも疲れにくくなります。

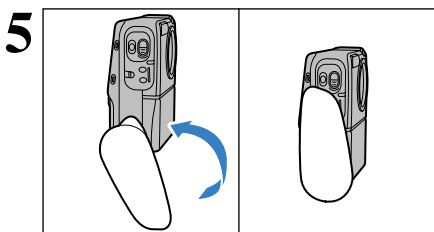
1

アクショングリップを取り付けやすくするために、グリップ部を"カチッ"と音がするところまで回転させます。

2

カメラのアクショングリップ取り付け部と、アクショングリップの突起を合わせてはめ込みます。

3

続いてアクショングリップの取り付けねじを、カメラの三脚穴に固定します。

4

撮影時は、アクショングリップを右手でしっかり持ち、左手を添えるようにして両手で構えます。

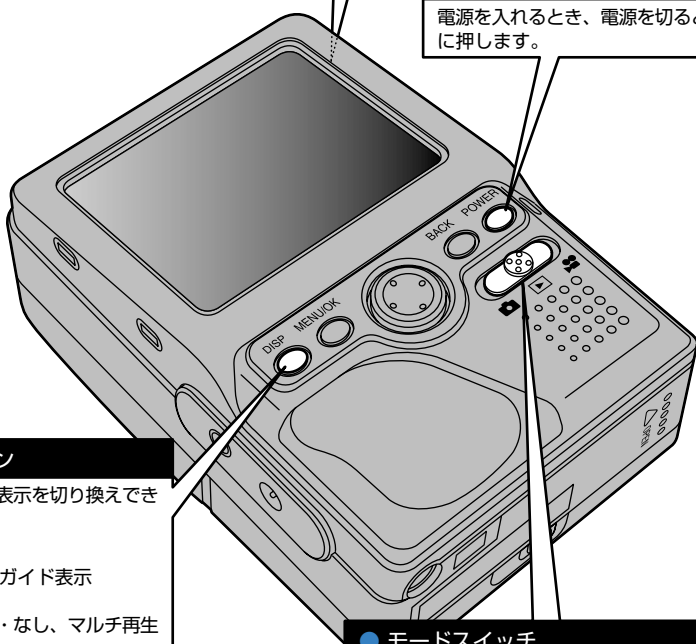
! また「カメラの構えかた」もあわせて参考にしてください（➡19ページ）。

5

撮影をしないときは、アクショングリップを回転させ収納します。

- アクショングリップ取り付け時は、バッテリーやメディアの交換を行えません。アクショングリップを取り外してから行ってください。
- アクショングリップ取り付け時は、カメラの底面を下にして置くことは避けてください。必ずカメラを寝かして置いてください。

基本操作ガイド

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
基本編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。

本カメラの機能について説明します。

◆ガイダンス（案内）表示について◆

画面下部に、次のステップに進むためのガイダンス（案内）が表示されますので、対応するボタンを押してください。例えば右のイラストの場合、トリミングするには “MENU/OK” ボタンを押します。

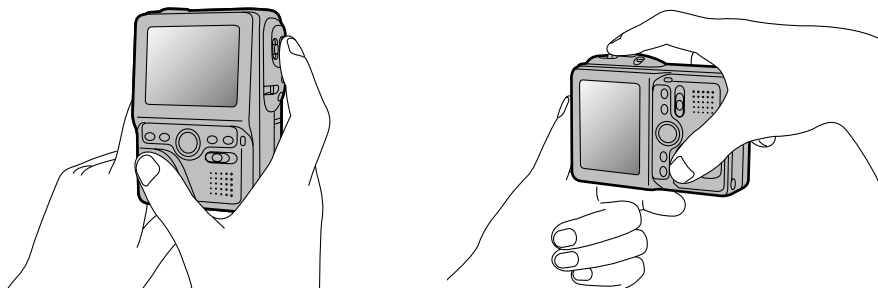
円形ガイダンス

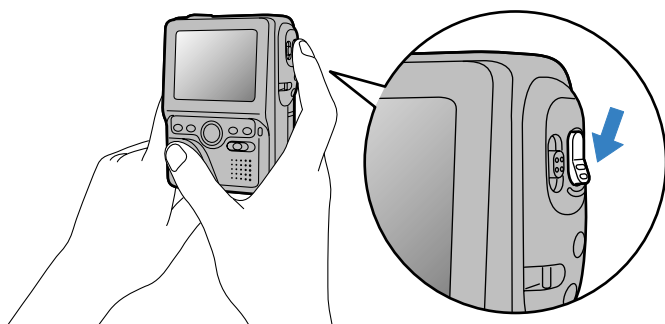
OK トリミング

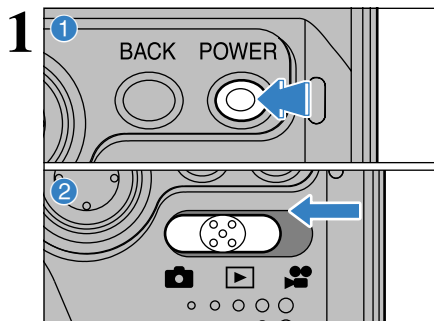
❗円形ガイダンス表示については、57ページをご参照ください。

使用説明書では、十字ボタンの上、下、左、右を三角マークで表します。
上・下のときは “▲▼” となり、左・右のときは “◀▶” となります。

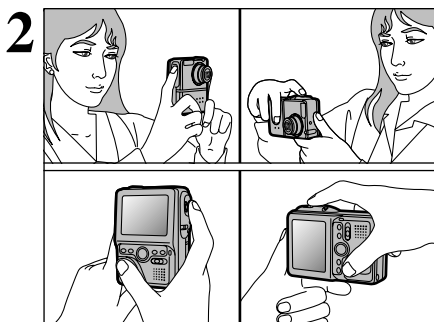
カメラの構えかた

右手の親指をグリップ部に置いて、カメラを包み込むようにしっかりと持ちます。このとき人差し指を伸ばすと自然にシャッターボタン付近に位置します。
左手はブレを押さえるように、人差し指と親指をL字型になるように開き、カメラに添えます。

シャッターボタンの押しかた

斜め下に押し込むように、静かに押すとブレが起こりにくくなります。
また、半押し機構を採用しており、半押しのまま保持するとピントが固定されます（AFロック）。
半押しのまままさらに押し込むと撮影されます。

静止画を撮影してみましょう（Aオート撮影）

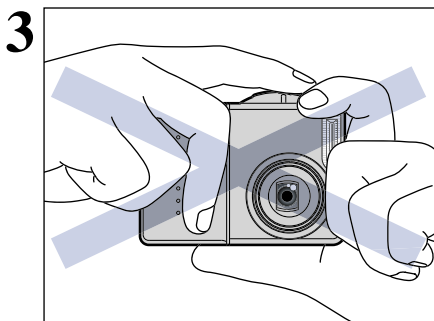
1

❶POWER（電源）ボタンを押して、電源を入れます。
❷モードスイッチを“”に合わせます。
●撮影可能距離：約60cm～無限遠

“カードエラー”“フォーマットされていません”“空き容量がありません”“カードがありません”が表示された場合は、78ページをご参照ください。

2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。

約60cmより近づいた場合にはマクロに設定してください（➡25ページ）。

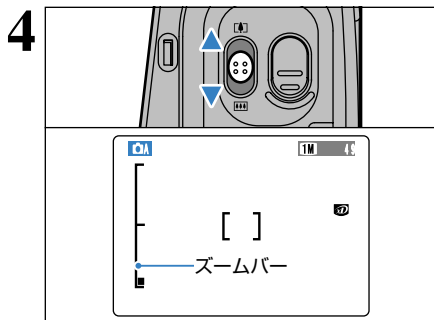
撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。とくに、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

3

レンズ、ストロボ、ストロボ調光センサーに、指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は75ページを参照してレンズをきれいにしてください。

雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。

液晶モニターの下端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響はありません。

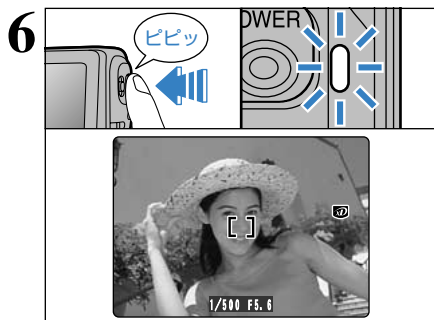
4

被写体を大きく写したいときは、ズームレバーを“[T]”（望遠）側へスライドします。広い範囲を写したいときは、ズームレバーを“[W]”（広角）側へスライドします。このとき画面に“ズームバー”が表示されます。

●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約38mm～約76mm相当
最大ズーム倍率 2倍

! 光学ズームとデジタルズーム（➡24ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。もう一度同じ方向にスライドすると切り換わります。

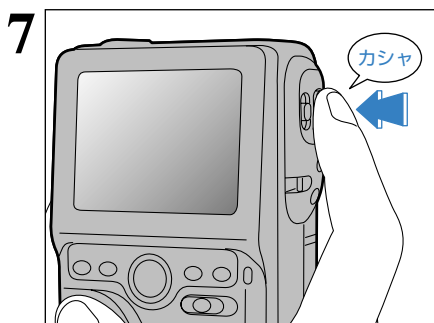
5

液晶モニターを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

! 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡23ページ）。
! 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡27ページ）。

6

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき画面のAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます（インジケーターランプ［緑］は点滅から点灯）。

! “ピピッ”と音が鳴らずに画面に“!AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
! シャッターボタンを半押しすると、一時的に画面の映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
! “!AF”が表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、被写体から2m程度離れて撮影してください。

7

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込む（全押しする）と、“カシャ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

! シャッターボタンを押した瞬間から、一瞬遅れて撮影されますので、必要に応じて再生してご確認ください。
! シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
! 撮影するとインジケーターランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
! ストロボ充電中はインジケーターランプが橙色に点滅します。液晶モニターが一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
! 警告表示については78～79ページをご参照ください。

静止画を撮影してみましょう（Aオート撮影）

■インジケーターランプ表示について

表　示	状　態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF・AE動作中または手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑・橙の交互点滅	メディアに記録中（撮影可能）
橙点灯	メディアに記録中（撮影不可）
橙点滅（速）	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
橙点滅（遅）	動画撮影/記録中
赤点滅	●メディアについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、メディア異常 ●レンズ動作異常

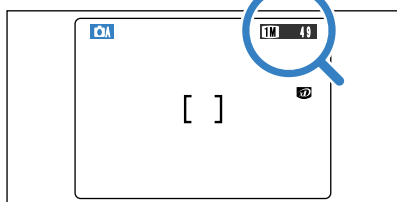
*液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡78〜79ページ）。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 高速で移動する被写体
- AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合にはAF/AEロック（➡23ページ）をお使いください。

撮影可能枚数について

画面に撮影可能枚数が表示されます。

ピクセル設定の変更は、32ページをご参照ください。
工場出荷時の“ ”ピクセルは1Mです。

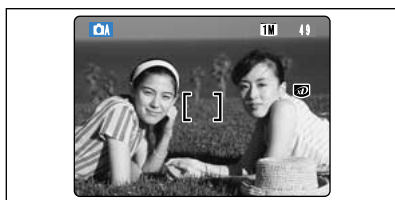
■メディア標準撮影枚数

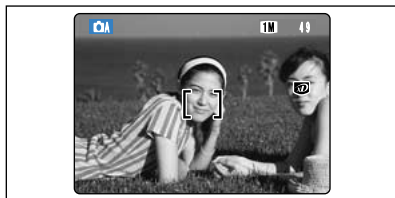
被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。また、撮影枚数はメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

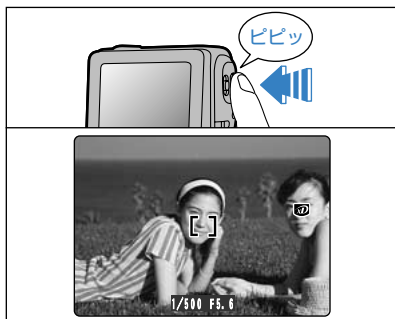
ピクセル（画質）	6M 6M・F	6M 6M・N	3M 3M	1M 1M	03M 0.3M
記録画素数	2832×2128（約603万）		2048×1536（約315万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）
画像1枚のファイルサイズ	約2.4MB	約1.2MB	約590KB	約320KB	約130KB
DPC-16（16MB）	6	13	26	49	122
DPC-32（32MB）	13	28	53	99	247
DPC-64（64MB）	26	56	107	198	497
DPC-128（128MB）	53	113	215	398	997
MK-1（340MB）	147	311	589	1119	2729
MK-2（1GB）	443	938	1729	3285	8213

*新しいメディアをカメラでフォーマットした状態で表示される撮影可能枚数です。

AF/AEロック撮影

1

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

2

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

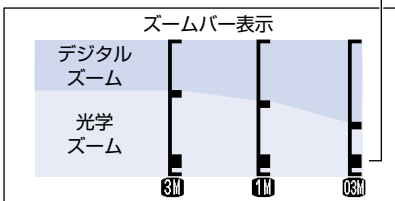
3

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき画面のAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます（インジケーターランプ［緑］は点滅から点灯）。

4

シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

❗AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
❗AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影するときれいに撮影できます。

ズーム撮影

1

ピクセル（画像サイズ）設定が“3M”“1M”か“03M”の場合はデジタルズームできます。

- “6M”ではデジタルズームはできません。
- ピクセル(画像サイズ)設定の変更(➡32､41ページ)。
- ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

2

ズームバーの“■”の位置でズームの状態が分かります。

- 区切りより上の場合はデジタルズーム、区切りより下の場合は光学ズームです。
- ズームレバーをスライドさせると“■”が上下に動きます。
- デジタルズームと光学ズームを切り換える際に、いったん“■”が停止します。もう一度同じ方向にスライドさせると、“■”が動いて切り換わります。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）

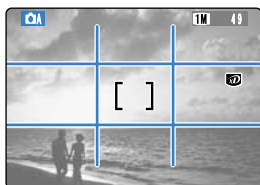
3M：約76mm～約106mm相当　最大ズーム倍率 1.4倍
1M：約76mm～約167mm相当　最大ズーム倍率 2.2倍
03M：約76mm～約334mm相当　最大ズーム倍率 4.4倍

- 光学ズームは約38mm～約76mm相当（35mmカメラ換算）です。

ベストフレーミング

“📷”静止画撮影モードで設定できます。
“DISP”ボタンを押すごとに画面の表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押して“フレーミングガイド”を表示します。

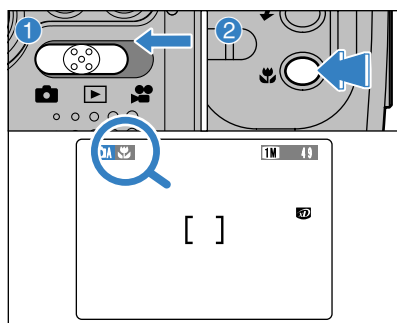
- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。
被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

◆重要◆

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

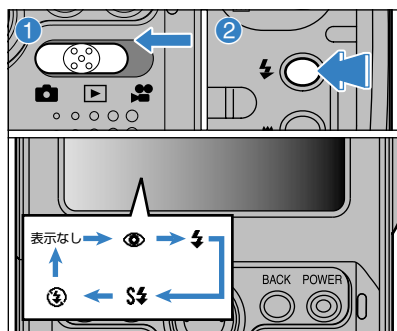
マクロ(近距離)・ストロボ

マクロ(近距離)

マクロを設定すると近距離撮影ができます。
❶モードスイッチを“”に合わせます。
❷“”マクロボタンを押します。画面に“”が表示され、近距離撮影ができます。

マクロを解除するには、もう一度“”マクロボタンを押します。

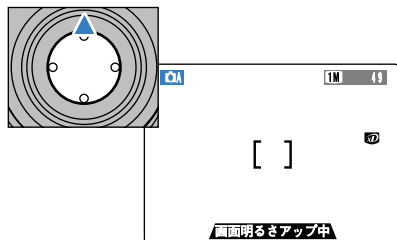
●撮影可能距離：約20cm〜約80cm

- マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
  - モードスイッチを切り換えたとき
  - “A”、“M”を切り換えたとき
  - 電源が切れたとき
- 撮影の状況に応じてストロボの設定をしてください。
- 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします(“!”手ブレ警告が表示されているとき)。

ストロボ

撮影の目的に合わせて5種類のストロボの設定が選べます。
❶モードスイッチを“”に合わせます。
❷“”ストロボボタンを押すたびに、ストロボの設定が切り換わり、最後に表示したストロボの設定が選択されます。

●ストロボ撮影可能距離(Aオート時)
広角側：約0.6m〜約4.0m
望遠側：約0.6m〜約3.0m

- 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。
- バッテリーの残容量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。
- ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときインジケーターランプが橙色の点滅をします。

◆画面(液晶モニター)の明るさアップについて◆

薄暗いシーンの撮影(スローシンクロ撮影など)で構図を確認するときに便利です。撮影前に十字ボタンの“▲”を押している間、画面に被写体が明るく表示されます。

- この機能は構図の確認専用です。撮影する画像を明るくする機能ではありません。
- 暗闇では明るさアップを行っても、被写体の確認ができません。
- 明るさアップ中は、他の操作(撮影など)ができません。

次ページにつづく

オートストロボ(表示なし)

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。
撮影状況に応じてストロボが自動的に発光します。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

スローシンクロ

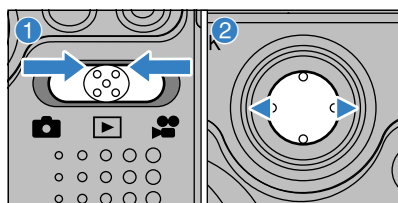
スローシャッター(最低シャッター速度:1/4秒まで)でストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

- 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。
- スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

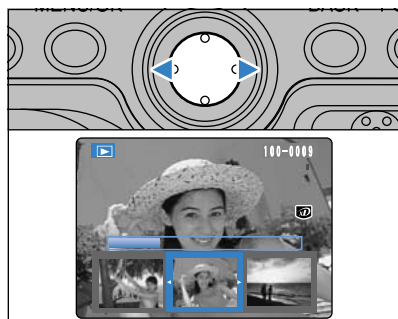
ストロボ発光禁止

室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、オートホワイトバランス(➡83ページ)が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

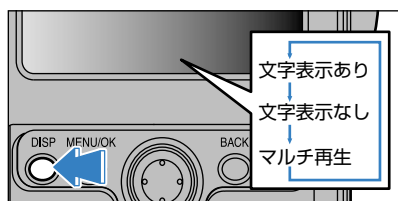
- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については､78ページをご参照ください。

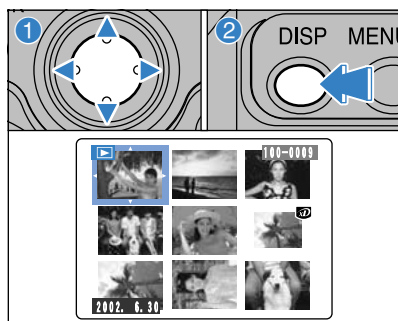
画像を見るには(再生)

1コマ再生

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

❗モードスイッチを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
❗再生時にレンズが出ているときは、約6秒間操作しないとレンズ保護のため、レンズが収納されます。

画像の早送り

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、画像を早送りできます。

❗メディア内のおおよその再生位置が、目安となるバーで表示されます。

マルチ再生

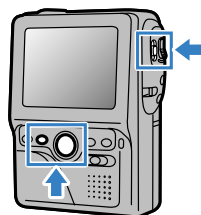
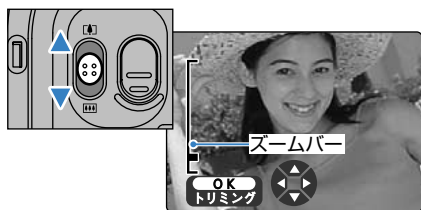
再生モードでは“DISP”ボタンを押すごとに画面の表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押してマルチ再生(9コマ)にします。

❶“▲▼◀▶”でカーソル(橙色の枠)を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。
❷もう一度“DISP”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

◆再生できる静止画について◆

本機で記録した静止画、または、xDピクチャーカードおよびマイクロドライブ対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画(一部非圧縮画像を除く)が再生できます。

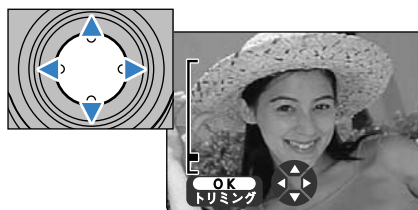
画像を見るには（再生）

1コマ再生

再生ズームを解除するには“BACK”ボタンを押します。

再生ズーム

1コマ再生中にズームレバーをスライドさせると静止画をズーム（拡大）します。このとき“ズームバー”が表示されます。

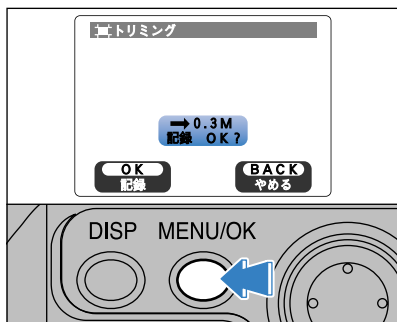
●ズーム倍率
6M 2832×2128ピクセル画像：最大18倍
3M 2048×1536ピクセル画像：最大13倍
1M 1280× 960ピクセル画像：最大 8倍
03M 640× 480ピクセル画像：最大 4倍

再生ズーム中はマルチ再生はできません。

移動

“▲▼◀▶”を押すと、見える範囲を移動できます。

ズーム倍率によって保存される画像サイズが変わり、0.3Mになる場合は“OK トリミング”の文字が黄色になります。
さらに0.3M以下になると“OK トリミング”表示が消えます。

トリミングするときは、“MENU/OK”ボタンを押します。

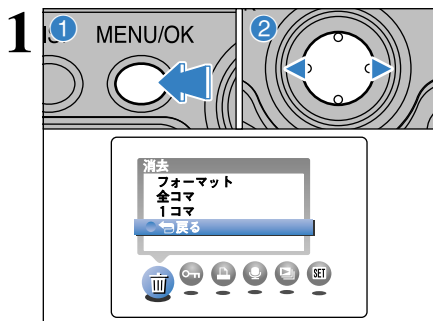
トリミング

保存されるサイズを確認し、“MENU/OK”ボタンを押します。トリミングした画像は最後のコマに別ファイルで追加されます。

■画像サイズについて

3M	プリントに適しています。
1M	プリントに適しています。
03M	プリント時の画質が低下するため、トリミングの文字が黄色になります。

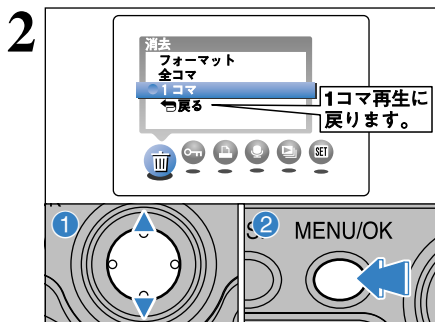
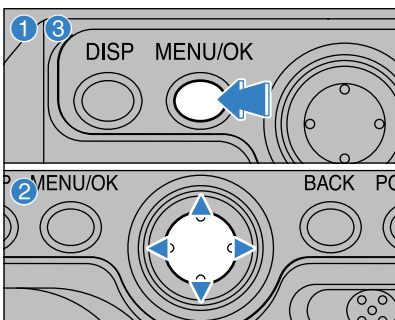
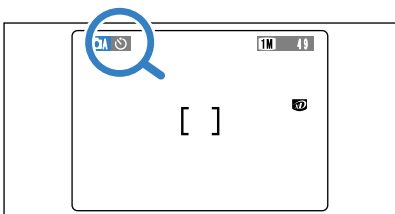
＊ 03M以下はプリントに適さないため、トリミングの文字が消えトリミング保存できません。

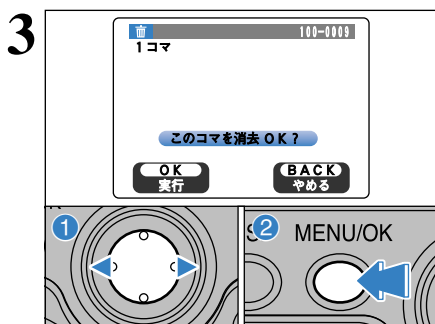
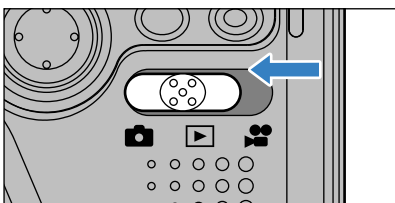
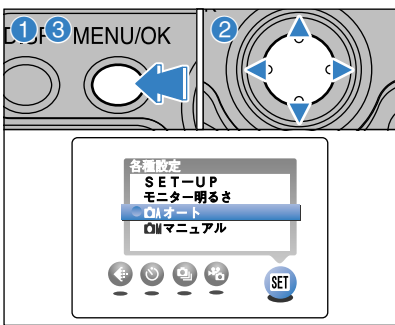
画像を消すには（1コマ消去）

1

❶再生中に“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🗑”消去を選びます。

誤って画像を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

2

消去
フォーマット
全コマ
1コマ
戻る
1コマ再生に戻ります。
MENU/OK

❶“▲▼”で“1コマ”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。
全コマ、フォーマット（初期化）について詳しくは44ページをご参照ください。

3

❶“◀▶”で消去するコマ（ひとつのファイル）を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ひとつのファイル）を消去します。

続けて消去するには❶❷を繰り返します。

基本編

撮影メニューの操作・Aオート/Mマニュアルの切り換え

撮影メニューの操作

1

❶"MENU/OK" ボタンを押してメニューを表示します。
❷"◀▶" でメニューを選びます。"▲▼" で設定を変更します。
❸"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

2

設定を有効にすると画面にアイコンが表示されます。

! 撮影モードにより設定可能撮影メニューは変わります。

Aオート/Mマニュアルの切り換え

1

モードスイッチを "" に合わせます。

! 動画の撮影については40ページをご参照ください。

2

❶"MENU/OK" ボタンを押して、メニューを表示します。
❷"◀▶" で "SET" 各種設定を選び、"▲▼" で "Aオート" か "Mマニュアル" を選びます。
❸"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

A オート

最も簡単に撮影できる撮影用途の広いモードです。

M マニュアル

"アカルサ・ホワイトバランス・感度" を設定できるモードです。

撮影メニュー一覧

■A（オート撮影）で使えるメニュー一覧

ピクセル

工場出荷時設定：1M
32ページ

セルフタイマー

工場出荷時設定：OFF
33ページ

連写

工場出荷時設定：OFF
34ページ

プレムービー

工場出荷時設定：OFF
36ページ

各種設定

工場出荷時設定：－
66ページ

■M（マニュアル撮影）で使えるメニュー一覧

ピクセル

工場出荷時設定：1M
32ページ

セルフタイマー

工場出荷時設定：OFF
33ページ

感度

工場出荷時設定：200
38ページ

アカルサ

工場出荷時設定：0
39ページ

ホワイトバランス

工場出荷時設定：AUTO
39ページ

各種設定

工場出荷時設定：－
66ページ

■（動画撮影）で使えるメニュー一覧

ピクセル

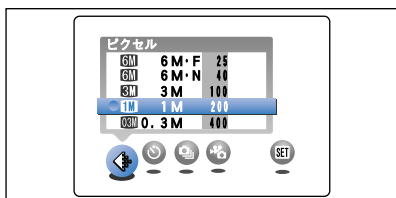
工場出荷時設定：640 30f
32、41ページ

各種設定

工場出荷時設定：－
66ページ

ピクセル(記録画素数)

※A/Mの切り換え(➡30ページ)
※メニューの表示方法(➡30ページ)

静止画撮影モード()のピクセル設定

“A”、“M”の撮影モードで設定できます。
5種類の設定から選べます。左の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

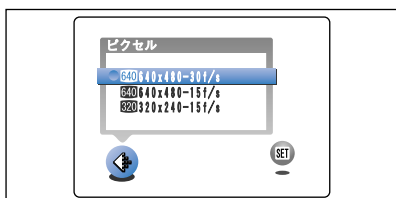
各設定の右側の数値は、撮影可能枚数です。
ピクセル設定を変更すると、撮影可能枚数が変わります。

用途	ピクセル
プリント向け ↕ インターネット向け	6M 6M・F (2832×2128) 6M 6M・N (2832×2128) 3M 3M (2048×1536) 1M 1M (1280× 960) 03M 0.3M (640× 480)

<設定例>
- A4サイズ程度にプリントする場合
  → 6M 6M・Fまたは6M 6M・N
  ＊画質を優先する場合は“F”(FINE)を、枚数を優先する場合は“N”(NORMAL)を選んでください。通常は“N”で十分な画質が得られます。
- A5サイズ程度にプリントする場合 → 3M 3M
- A6(はがき)サイズ程度にプリントする場合
  → 1M 1M
- 電子メールへの画像添付やホームページへの利用 → 03M 0.3M

◆高感度撮影時のピクセル設定について◆

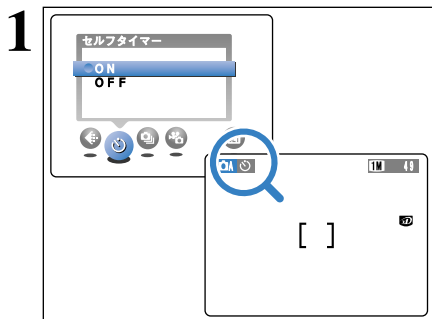
高感度に設定しているときに、ピクセル設定で“1M”以外に変更しようとすると、“ISO 800”または“ISO 1600”が点滅表示され、変更できません。

動画撮影モード()のピクセル設定

動画サイズは“640”と“320”の2種類で、“640”のみフレームレートを30フレーム/秒と15フレーム/秒を選べます。

	動画サイズ	フレームレート
640 30f	640×480	30フレーム/秒
640 15f	640×480	15フレーム/秒
320 15f	320×240	15フレーム/秒

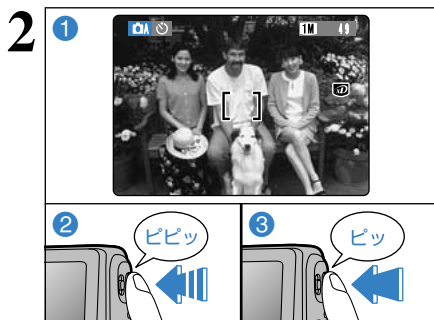
セルフタイマー

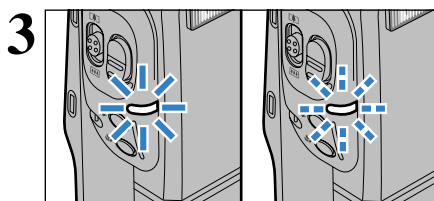
※A/Mの切り換え（➡30ページ）
※メニューの表示方法（➡30ページ）

1

“A”、“M”の撮影モードで設定できます。
セルフタイマーをONにすると、画面に“”が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。撮影者自身を撮影する場合などに使用します。

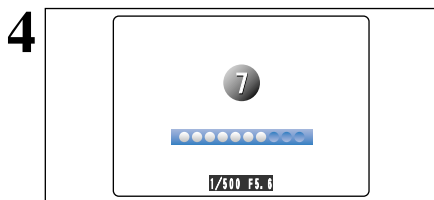
! セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- “A”、“M”を切り換えたとき
- モードスイッチを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

! AF/AEロック撮影も可能です（➡23ページ）。
! レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

2

❶AFフレームを被写体に合わせます。
❷シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
❸半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、セルフタイマーが開始されます。

3

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に“カシャ”と音が鳴り撮影されます。

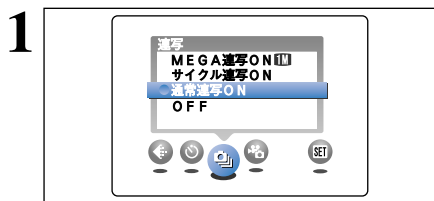
! 撮影される3秒前から音でカウントダウンされます。
! 開始したセルフタイマー撮影は、“BACK”ボタンを押すと解除できます。

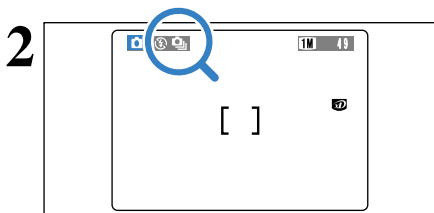
4

撮影されるまでの間、画面にカウントダウン（秒読み）表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

※A/Mの切り換え(➡30ページ)
※メニューの表示方法(➡30ページ)

連写

1

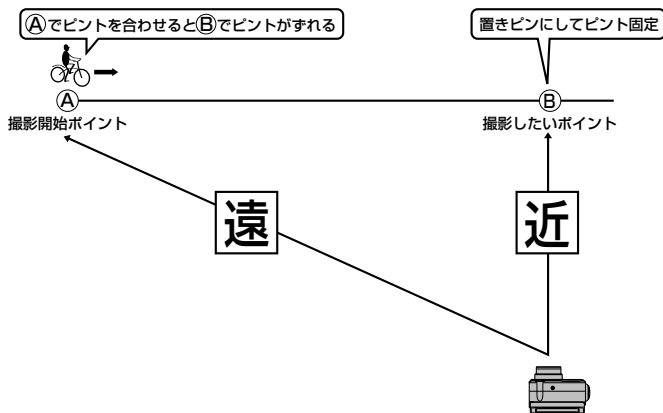
連写
MEGA連写ON
サイクル連写ON
通常連写ON
OFF

“A”の撮影モードで設定できます。
使用する連写モードを選びます。

2

連写モードを設定(OFF以外)すると画面に選んだモードが表示されます。
：連写
：サイクル連写
：MEGA連写

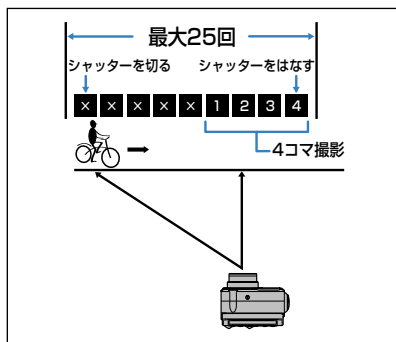
◆連写モードの注意◆

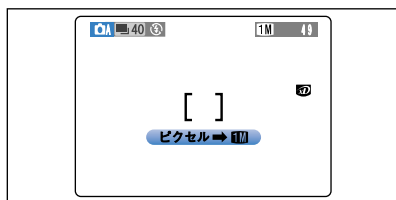
- シャッターボタンを押し続けている間撮影されます。
- メディアの容量が不足すると、記録可能な枚数分撮影されます。
- ピントは1コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- 「連写」と「サイクル連写」では、露出が1コマ目を撮影したときに決定されますが、「MEGA連写」ではシーンに応じて自動的に変わります。
- 連写速度はピクセル設定によって変わることはありません。
- ストロボは発光禁止になり使用できません。
- MEGA連写を除き、撮影後、必ず撮影結果が表示されます。画像を選択して記録したいときは、SET−UPの撮影画像確認を“プレビュー”にします(➡66ページ)。

◆移動している被写体にピントを合わせるには◆

撮影開始ポイントⒶでシャッターボタンを半押ししてピントを合わせると、撮影したいポイントⒷで距離が変わり、ピントの合っていない画像になることがあります。
そのときは、AFロックを使用して、あらかじめ撮影したいポイントⒷにピントを合わせ、ピントがずれないように固定して撮影します(置きピン)。
また置きピンは、動きが速くピントを合わせにくい被写体の撮影でも有効です。

連写

最短約0.2秒間隔で最大4コマ連写できます。撮影すると撮影結果（左から撮影した順序）が表示されます。

サイクル連写

最大25回（最短約0.2秒間隔）シャッターを切ったうちの最後の4コマを撮影します。25回に到達する前にシャッターボタンから指をはなしたときは、シャッターボタンから指をはなした直前の4コマが撮影されます。
メディアの容量が不足しているときは、シャッターボタンから指をはなした直前の、記録可能な枚数分撮影されます。

MEGA連写

最大40コマ連写できます（最短約0.6秒間隔）。MEGA連写では自動的にピクセル設定が“1M”（1280×960）になります。

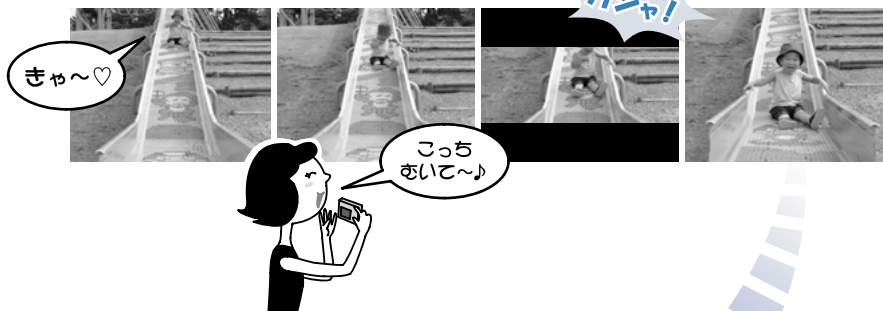
- マイクロドライブをご使用のときは、その特性上撮影間隔が長くなる場合があります。
- 撮影後、撮影結果が表示されず、自動的に記録されます。

◆ピクセルとストロボについて◆

各連写を設定すると、ストロボ設定は強制的に“発光禁止”発光禁止になります。また、MEGA連写ではストロボ設定の他に、ピクセル設定が強制的に“1M”になります。
ただし通常の撮影に設定し直すと、連写に設定する前に使用していたストロボ設定に再設定されます。また、MEGA連写ではピクセル設定も、連写を設定する前のピクセル設定に再設定されます。

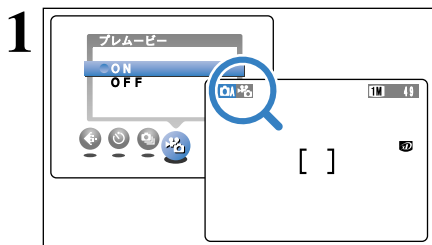
プレムービー

※A/Mの切り換え（➡30ページ）
※メニューの表示方法（➡30ページ）

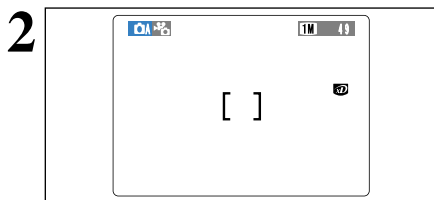
プレムービーは静止画を撮影するときに、シャッターを押した瞬間の5秒前から押した瞬間までの動画も、静止画とあわせて記録しておく撮影方法です。
さらに動画にはシャッターを切った瞬間のイメージと、フェードアウト効果が加えられ、写真を撮った瞬間の臨場感が味わえます。
この機能はセルフタイマーを使った撮影でも使用できます（音声を録音するため、半押し、全押し、カウントダウンの音はしません）。
プレムービーを設定した直後に撮影すると、動画の記録が5秒以下になることがあります。

● 撮影形式
動画：320×240ピクセル　15フレーム/秒　モノラル音声付き
静止画：撮影時のピクセル設定（➡32ページ）による

◆プレムービーの注意◆

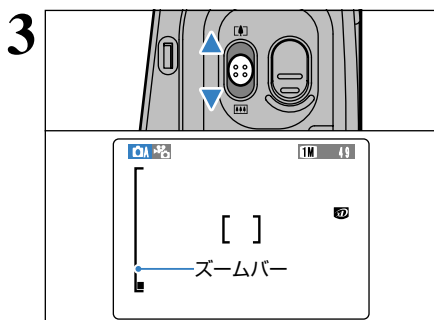
シャッターボタンを押さなくても常に動画が撮影されるため、次のことにご注意ください。
- バッテリーの残容量（内部メモリーを書き換え続けるため消費電力が増加します）。
- パワーセーブが“2分・5分”の設定でも、消費電力を抑えるスリープになりません。
- パワーセーブを“OFF”に設定しているときは、特にバッテリーの残容量に注意が必要です。

1

“ ” の撮影モードで設定できます。
プレムービーをONにすると、画面に “ ” が点滅表示されます。
動画の撮影が開始されます（記録はされません）。

! プレムービーは次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- “ ”、“ ” を切り換えたとき
- モードスイッチを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

2

被写体が画面中央付近にくるようにねらうと、被写体に自動でピントが合います。

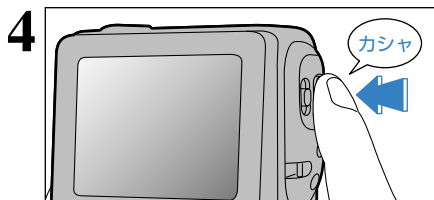
! 音声が同時に記録されるので、指などでマイク（➡6ページ）をふさがないようご注意ください。
! 動画撮影中に被写体の明るさが変化すると、レンズ動作音が記録されることがあります。

3

撮影中にズームできます（光学ズームのみ）。

●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約38mm〜約76mm相当
最大ズーム倍率 2倍

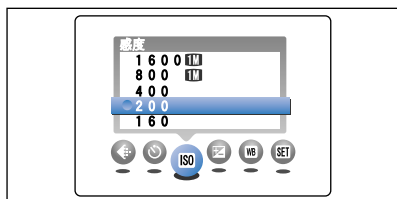
●撮影可能距離
標　準：約60cm〜無限遠
マクロ：約20cm〜約80cm

! ピクセル設定にかかわらず、デジタルズームできません。

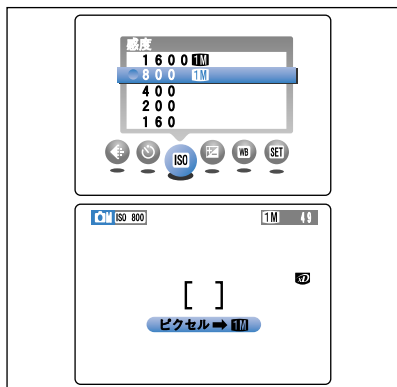
4

シャッターボタンを全押しすると動画の撮影が終了し、同時に静止画が記録されます。

! 動画と静止画は別々のファイルとして記録されます。

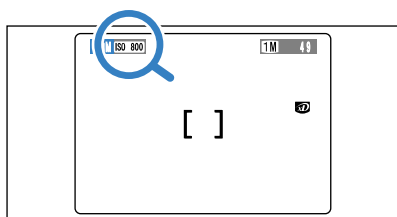
ISO 感度

※A/Mの切り換え（➡30ページ）
※メニューの表示方法（➡30ページ）

“M”の撮影モードで設定できます。
室内の撮影などで、ストロボを使わずに明るく撮影したい場合や、高速シャッターを切りたいとき（手ブレ防止など）に使用します。

●設定値：160・200・400・800・1600

! 感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。
状況に応じて、感度設定を使い分けてください。

高感度撮影（800・1600）

高感度（800・1600）に設定すると、自動的にピクセル設定が“1M”に設定されます。

! 感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。
状況に応じて、感度設定を使い分けてください。

高感度撮影のときは、画面に“ISO 800”または“ISO 1600”が表示されます。

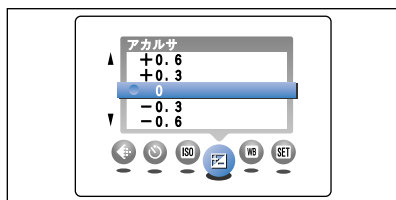
■高感度撮影時のカメラ設定について

“M→A”に変更	高感度撮影は解除され、カメラの設定は感度設定をする直前の設定に戻ります。 再度“M”に変更すると、高感度撮影になりカメラの設定は感度設定をしたときの設定に変更されます。
いったんモードスイッチを“▶”にして、再び“”に変更	感度設定は高感度設定のままです。
電源をOFF	再度電源を入れても、感度設定は高感度設定のまま保持されます。

◆高感度撮影時のピクセル設定について◆

高感度に設定しているときに、ピクセル設定（➡32ページ）で“1M”以外に変更しようとすると、“ISO 800”または“ISO 1600”が点滅表示され、変更できません。

アカルサ（露出補正）・WBホワイトバランス（光源選択）

アカルサ（露出補正）

“M”の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

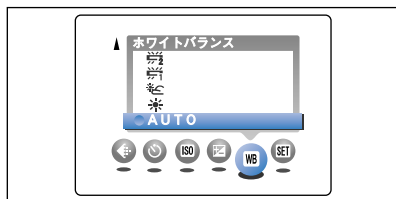
●補正範囲：－2.1EV～＋1.5EV
（13段階：約0.3EVステップ）
EVについては83ページをご参照ください。

次のような状態では、無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正の目安
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写：＋1.5EV
- 逆光の人物撮影：＋0.6EV～＋1.5EV
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：＋0.9EV
- 液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合：＋0.9EV

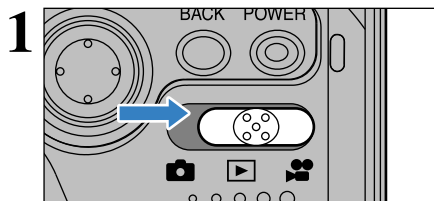
－（マイナス）補正の目安
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：－0.6EV
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写：－0.6EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：－0.6EV

WBホワイトバランス（光源選択）

“M”の撮影モードで設定できます。
撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。
ホワイトバランスについては83ページをご参照ください。

AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
（晴れ）：晴れた屋外での撮影
（日陰）：日陰での撮影
（蛍光灯1）：昼光色蛍光灯下での撮影
（蛍光灯2）：昼白色蛍光灯下での撮影
（蛍光灯3）：白色蛍光灯下での撮影
（電球）：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時の、ホワイトバランスはストロボ用の設定になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止（➡26ページ）にしてください。

動画を撮影してみましょう（動画撮影）

1

モードスイッチを“”に合わせます。
音声付き動画が撮れるモードです。

●撮影形式：Motion JPEG 形式（➡83ページ）
ピクセルサイズ切り換え式
640（640×480ピクセル）
30フレーム/秒または15フレーム/秒
モノラル音声付き
320（320×240ピクセル）
15フレーム/秒　モノラル音声付き

! メディアの空き容量によっては、一回の撮影時間が短くなることがあります。
! 動画はメディアに記録しながら撮影するため、突然電源が切れる（バッテリーカバー・スロットカバーを開ける、ACパワーアダプターの抜き差し）と正常に保存処理できません。

本機以外のカメラでは再生できない場合があります。

■メディア標準撮影時間

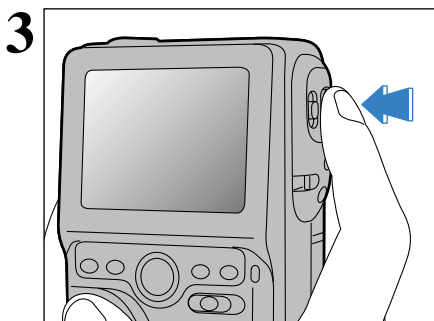
＊新しいメディアをカメラでフォーマットした状態の撮影可能時間です。

メディア容量		ピクセル		
		640（30フレーム/秒）	640（15フレーム/秒）	320（15フレーム/秒）
xD ピクチャーカード	DPC-16（16MB）	約13秒	約26秒	約52秒
	DPC-32（32MB）	約27秒	約54秒	約 1分46秒
	DPC-64（64MB）	約55秒	約 1分49秒	約 3分33秒
	DPC-128（128MB）	約 1分51秒	約 3分40秒	約 7分 7秒
マイクロドライブ	MK-1（340MB）	約 5分 5秒	約10分 2秒	約19分29秒
	MK-2（1GB）	約15分19秒	約30分12秒	約58分39秒

2

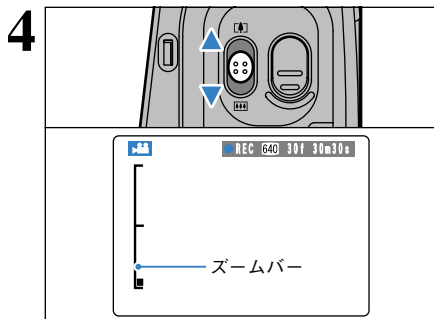
画面に撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

! 音声が同時に記録されるので、指などでマイク（➡6ページ）をふさがないようご注意ください。

3

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

! 撮影前の画面と動画記録中の画面は明るさや色などが異なる場合があります。
! シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

ピント、ホワイトバランス、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

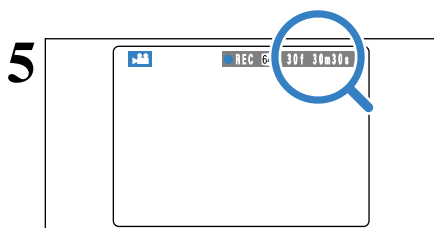
4

撮影中にズームできます。
デジタルズームと光学ズームを切り換える際に、いったん“■”が停止します。もう一度同じ方向にスライドさせると、“■”が動いて切り換わります。

●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約38mm〜約76mm相当
最大ズーム倍率 2倍

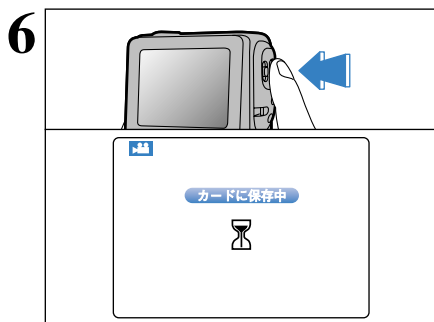
●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
640：約76mm〜約167mm相当
最大ズーム倍率 2.2倍
320：約76mm〜約334mm相当
最大ズーム倍率 4.4倍

●撮影可能距離
広角側：約10cm〜無限遠
望遠側：約20cm〜無限遠

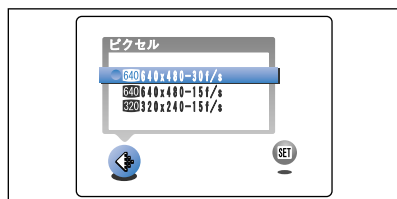
! デジタルズーム撮影では画像が若干劣化します。シーンに応じて使い分けてください。

5

撮影中は、画面右上に残り時間をカウントダウン表示します。

! 動画撮影中に被写体の明るさや距離が変化すると、レンズ動作音が記録されることがあります。
! 屋外での撮影で風切り音が入る場合があります。
! 残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、メディアに記録されます。

6

撮影中にシャッターボタンを押すと撮影を終了し、メディアへ記録します。

! 撮影開始後すぐに終了しても約1秒間だけメディアへ記録されます。

動画撮影モード（🎥）のピクセル設定

動画サイズは“640”と“320”の2種類で、“640”のみフレームレートを30フレーム/秒と15フレーム/秒を選べます。

	動画サイズ	フレームレート
640 30f	640×480	30フレーム/秒
640 15f	640×480	15フレーム/秒
320 15f	320×240	15フレーム/秒

応用編 撮影

◆動画撮影について◆

動画撮影時は画面中央付近の被写体にピントを合わせ続けます。ピントは“手前に歩いてくる人の歩行速度”ぐらいまでの追従ですが、遠くの被写体から近くの被写体に主被写体が切り換わってもピントを合わせますので、ピント固定の動画よりもくっきりと撮影できます。また、露出とホワイトバランスの設定はシーンに応じて自動的に変化します。
そして、デジタルズームに加えて光学ズームも可能なので、さらに動画撮影を楽しむことができます。

◆動画撮影の苦手な被写体とシーン◆

●低コントラストの被写体
例：人物の顔・素肌のアップ、無地の着衣、壁や空、無地の自動車ボディなど
●高速で移動する被写体
例：カメラの近くまで走ってくる被写体、走っている車など
●暗いシーン（場所）の撮影
例：街灯のみの屋外、白熱灯下の暗い室内など

◆動画撮影でマイクロドライブ使用時の注意◆

節電モード

撮影中に30秒間何も操作しないと、画面を少し暗くして「節電モード」になります。ズーム操作で節電モードが解除されます。

節電モードは、ストロボボタンとマクロボタンでも解除できます。

メディア保護

カメラの内部温度が高くなると自動的に動画の撮影を終了し、メディアを保護します。マイクロドライブは（機構上）発熱しやすいため、環境気温が高いと長時間連続して動画撮影できないことがあります。おおよその撮影可能時間は、環境気温が30℃で約20分、25℃で約30分の撮影が可能です。

①
②
③
①撮影中、カメラの内部温度が上昇すると“メディア保護のため撮影を停止します”と表示されます。
②その後“撮影を中止してください”の表示に切り換わります。さらに撮影を続けると自動的に動画が保存され、電源が切れます。
③直後に動画を撮影しようとすると“メディア保護のためしばらく撮影できません”と表示され撮影できません。電源を切り温度が低下するまで約30分間使用を中止してください。ただし、静止画の撮影は可能です。

動画撮影の直後はマイクロドライブが熱を持っているため、すぐに取り出さないでください。

再生モード 再生メニュー一覧

■静止画再生で使えるメニュー一覧

消去

44ページ

プロテクト

46ページ

プリント予約

48ページ

ボイスメモ

50、52ページ

オートプレイ

53ページ

各種設定

66ページ

■動画再生で使えるメニュー一覧

消去

44ページ

プロテクト

46ページ

編集

58、60ページ

再生オプション

62、63ページ

オートプレイ

53ページ

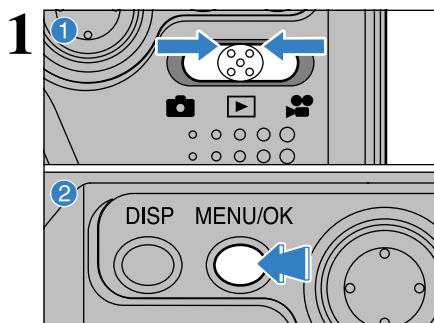
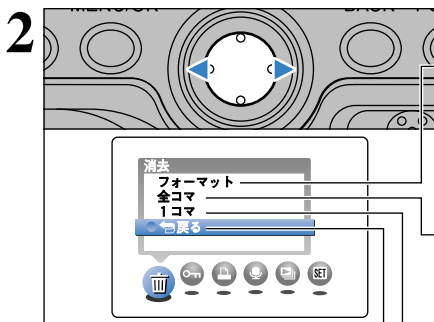
各種設定

66ページ

▶再生モード 🗑 消去　1コマ・全コマ消去/フォーマット

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

2

“◀▶”で“🗑”消去を選びます。

フォーマット

すべてのファイルを消去します。
メディアをカメラ用に初期化します。
消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

全コマ

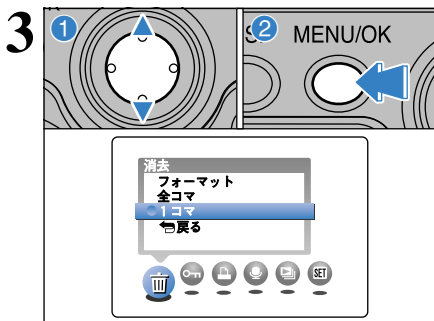
プロテクトされていないすべてのファイルを消去します。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

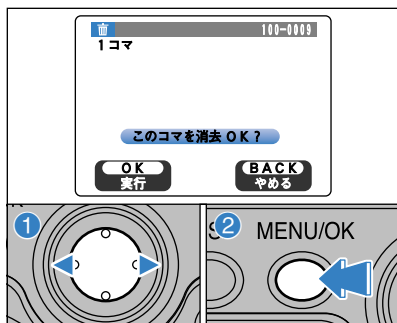
1コマ

選んだファイルだけを消去します。

戻る

消去せずに再生に戻ります。

3

❶“▲▼”で“1コマ”、“全コマ”か“フォーマット”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

1コマ

❶“◀▶”で消去するファイルを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のファイルを消去します。

続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには“BACK”ボタンを押します。

❗プロテクトされたコマは消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（➡46ページ）。

全コマ

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのファイルを消去します。

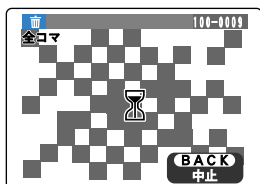
❗全コマ消去中に“BACK”ボタンを押すと処理を中止できます。
❗プロテクトされたコマは消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（➡46ページ）。

“ プリント予約されています ”が表示された場合、ファイルを消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押します。

フォーマット

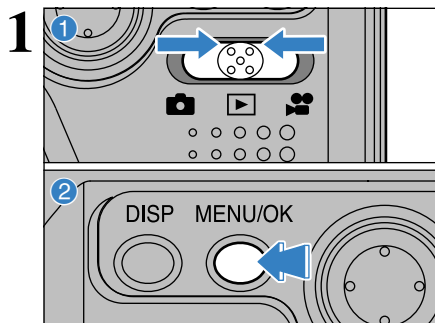
“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのファイルが消去され、メディアが初期化されます。
プロテクトされているファイルも消去されます。

❗フォーマットする前に“ カードエラー ”“ 記録できませんでした ”“ 再生できません ”“ フォーマットされていません ”が表示された場合は、78、79ページを参照し対処してください。

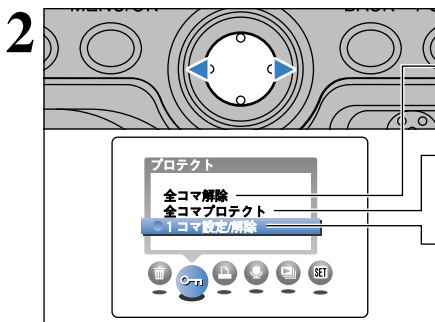
◆操作を途中でやめたいときは◆

全コマ消去を中止したいときは、“BACK”ボタンを押してください。プロテクトされていないファイルの中で、いくつかのファイルが消去されずに残ります。

❗すぐに中止した場合でも、いくつかのファイルは消去されます。

🔑 プロテクト 1コマ設定・解除/全コマ設定・解除

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

プロテクトとは、画像を誤って消去しないように設定することです。ただし“フォーマット”するとすべての画像が消去されます（➡45ページ）。

2

“◀▶”で“🔑”プロテクトを選びます。

全コマ解除

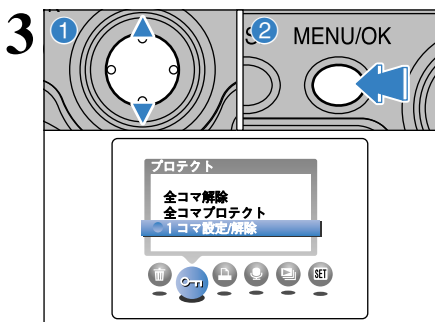
すべてのファイルのプロテクトを解除します。

全コマプロテクト

すべてのファイルをプロテクトします。

1コマ設定/解除

選んだファイルだけをプロテクトしたり、解除したりします。

3

❶“▲▼”で“1コマ設定/解除”、“全コマプロテクト”か“全コマ解除”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

1コマ設定

❶“◀▶”でプロテクトするファイルを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のファイルをプロテクトします。

続けてプロテクトするには❶❷を繰り返します。プロテクトを終えるには“BACK”ボタンを押します。

1コマ解除

❶“◀▶”でプロテクトしたファイルを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のファイルのプロテクトを解除します。

全コマプロテクト

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのファイルをプロテクトします。

全コマ解除

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのファイルのプロテクトを解除します。

◆操作を途中でやめたいときは◆

撮影した画像が大量にあると、全コマプロテクト・全コマ解除の設定に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は“BACK”ボタンを押してください。その後、全コマプロテクト・全コマ解除を設定し直す場合は、46ページの**1**から操作し直してください。

プリント予約（DPOF）

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

2

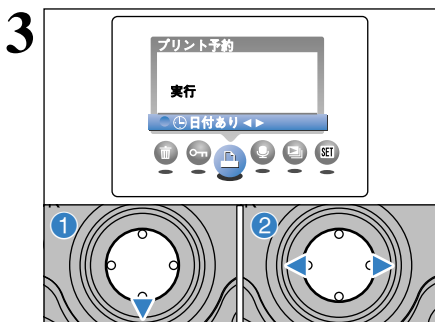
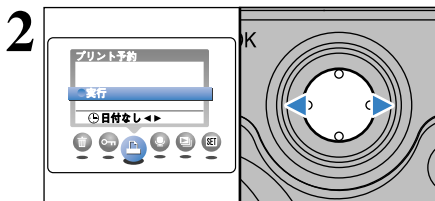
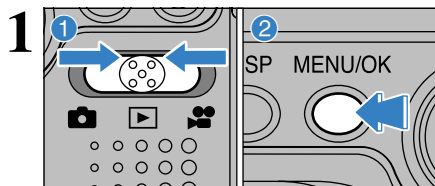
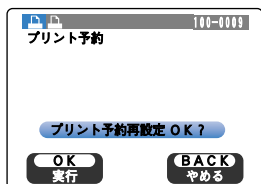
“◀▶”で“🖨”プリント予約を選びます。

3

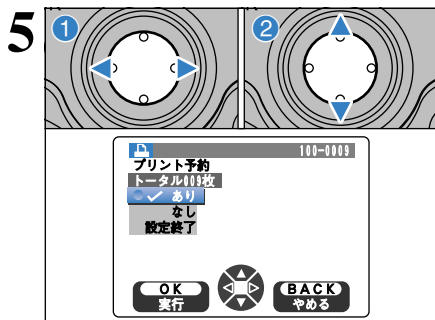
❶“▼”で“🕒”日付を選びます。
❷“◀▶”で“日付あり”か“日付なし”を選びます。

プリント予約するすべてのコマに有効です。

4

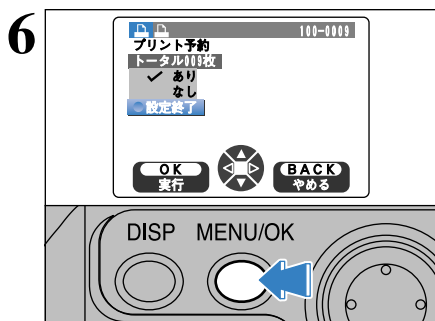
❶“▲”を押して“実行”を選択します。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

◆プリント予約の変更はできません◆

すでにプリント予約されたコマがある場合は“プリント予約再設定OK？”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗“BACK”ボタンを押すと設定を変更しません。
❗前回の設定は再生時に“🖨”が表示され確認できます。

5

❶“◀▶”で設定するコマを表示します。
❷プリントするコマに“▲▼”で“あり”を設定し、“MENU/OK”ボタンまたは“▶”を押します。

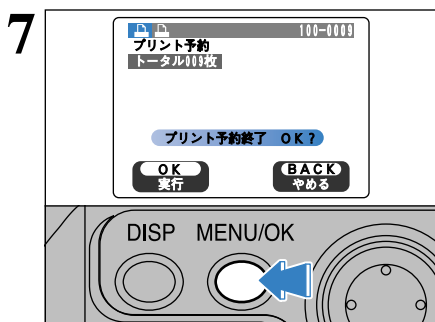
続けて設定するには、❶❷を繰り返します。

! 動画はプリント予約できません。
! “トータル”はプリント指定したコマ数の合計です。

6

設定が終了したら、必ず“設定終了”を選択して、“MENU/OK”ボタンを押します。

“BACK”ボタンを押すとプリント予約されません。

! 指定できるプリント枚数は1コマにつき1枚です。また、同一メディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

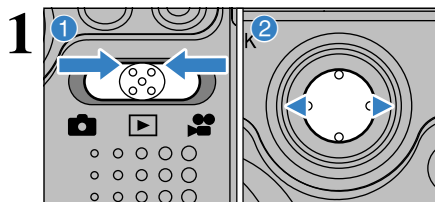
7

“MENU/OK”ボタンを押すとプリント予約設定が、決定されます。

“BACK”ボタンを押すと設定画面 **5** に戻ります。

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてが決定されます。

DPOFについて詳しくは73ページをご参照ください。

ボイスメモ録音

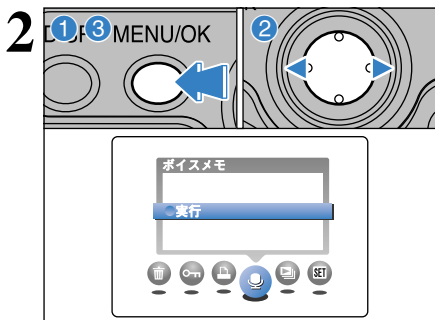
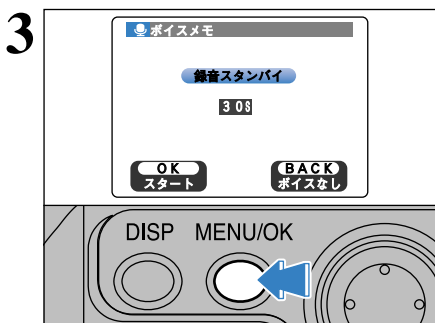
1

静止画に最長30秒間のボイスメモを付けることができます。

●録音形式：WAVE（➡83ページ）
PCM記録形式
音声ファイルサイズ：約240KB（30秒録音時）

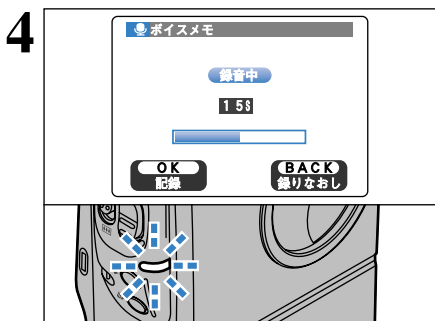
❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモを付けたい画像（静止画）を選びます。

2

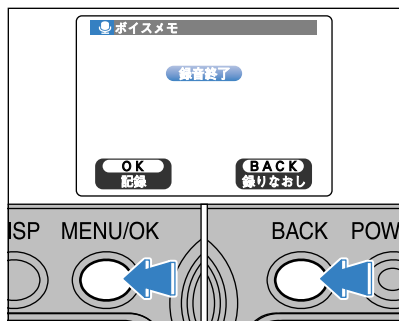
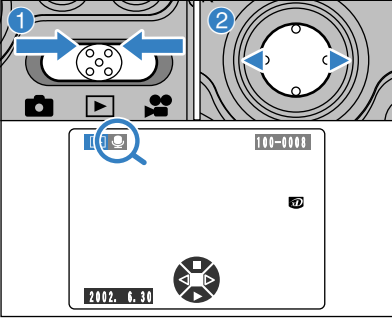
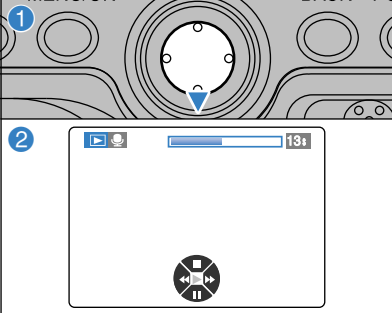
❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎙”ボイスメモを選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

3

画面に“録音スタンバイ”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと録音が開始されます。

カメラ上面のマイク（➡6ページ）に向かって録音してください。約20cm離れるとうまく録音できます。

4

録音中は画面に残り時間が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。
残り時間が5秒になると、セルフタイマーランプが早く点滅します。

❗途中で完了する場合は“MENU/OK”ボタンを押してください。

5

30秒間録音すると、画面に“録音終了”と表示されます。

記録する場合：“MENU/OK”ボタンを押します。
録りなおす場合：“BACK”ボタンを押します。

◆すでにボイスメモがあるときは◆

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうか選択画面が表示されます。

応用編 再生

ボイスメモ再生

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

マルチ再生ではボイスメモ再生できません。“DISP”ボタンで1コマ再生にしてください。

“🎙”のアイコンで表示されます。

2

❶“▼”を押すと再生されます。
❷画面に再生時間とバーが表示されます。

スピーカーをふさがないでください。
音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡65ページ）。

■ボイスメモ再生操作方法

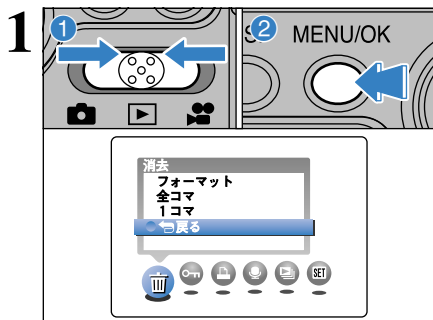
	操　　作	説　　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

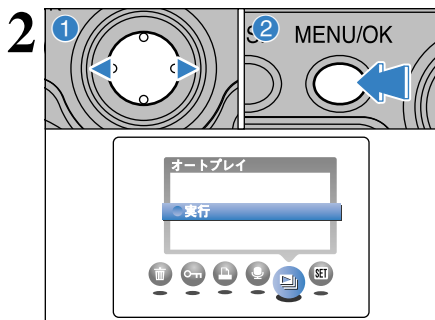
◆再生できるボイスメモファイルについて◆

本機で記録したボイスメモファイル、弊社製デジタルカメラでxDピクチャーカード、またはマイクロドライブに記録した30秒以内のボイスメモファイルが本機で再生できます。

オートプレイ（自動再生）

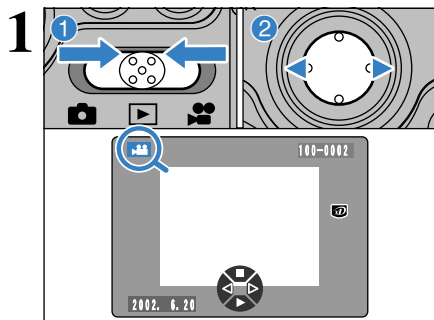
1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

! オートプレイ中はオートパワーセーブしません。
! プレムービー、動画は自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

2

❶“◀▶”で“”オートプレイを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

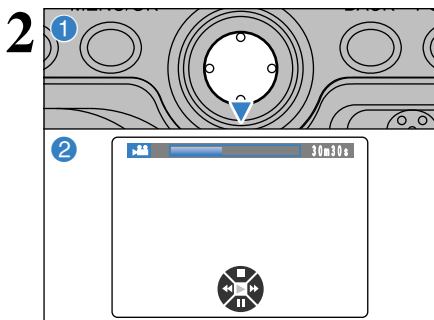
! “DISP”ボタンを1回押すと、画面に再生コマNO.が表示されます。
! 途中でやめる場合は、“BACK”ボタンを押してください。

▶再生モード 動画再生

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”で動画ファイルを選びます。

! マルチ再生では動画再生できません。“DISP”ボタンで1コマ再生にしてください。

“🎥”のアイコンで表示されます。

2

❶“▼”を押すと再生されます。
❷画面に再生時間とバーが表示されます。

! スピーカーをふさがないでください。
! 音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡65ページ）。
! 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦スジや、黒い横スジが入ることがありますが故障ではありません。
! マイクロドライブから動画を再生中にカメラに衝撃が加わると“再生できません”が表示され、再生が停止することがありますが、電源を入れ直すか、またはコマ送り/戻しで正常に再生します。

■動画再生操作方法

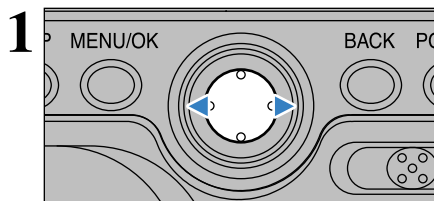
	操　作	説　明
再生/一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると自動的に停止します。再生中は一時停止します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”で次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、早送り/巻き戻しします。詳しくは55ページ参照。
コマ送り	◀▶ 一時停止中	一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。
スロー再生	◀▶ 一時停止中	一時停止中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、スロー再生します。詳しくは55ページ参照。

＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

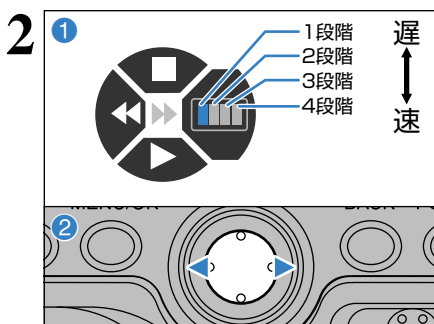
◆再生できる動画ファイルについて◆

本機で記録した動画ファイルは、本機以外では再生できません。

動画の早送り・巻き戻し/スロー再生

1

“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、早送り・巻き戻し、またはスロー再生ができます。

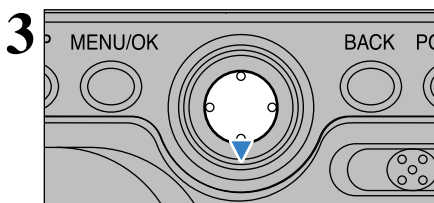
早送り・巻き戻し	再生中に操作します。
スロー再生	一時停止中に操作します。

2

❶早送り・巻き戻し、またはスロー再生すると、画面の操作ガイダンス(➡57ページ)が速度表示に変わります。
❷もう一度同じ方向の“◀”または“▶”を押すたびに、速度を4段階で調節できます。

! 早送り・巻き戻し、スロー再生中に逆方向の操作(早送り中なら巻き戻し)もできます。

■再生速度

	早送り・巻き戻し	スロー再生
1段階	2倍速	1/15倍速
2段階	5倍速	1/10倍速
3段階	15倍速	1/5倍速
4段階	60倍速	1/2倍速

3

早送り・巻き戻し、スロー再生中に“▼”を押すと、そのシーンから再生が開始されます。

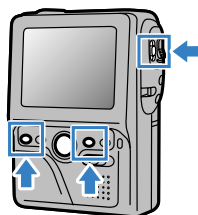
! “▲”を押すと再生を停止し、動画の始めのシーンに戻ります。早送り・巻き戻し、スロー再生の停止ではありません。

■早送り・巻き戻し/スロー再生の操作方法

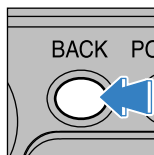
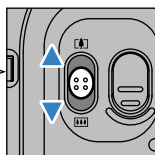
	操　作	説　明
再生/一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると自動的に停止します。再生中は一時停止します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”で次のファイルに送られます。
コマ送り	◀ ▶ 一時停止中	一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。

動画の再生ズーム

モードスイッチを“▶”に合わせ、“◀▶”で動画ファイルを選びます。

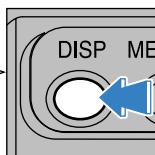
❗ マルチ再生では動画を再生できません。“DISP”ボタンで1コマ再生にしてください。

動画の再生（等倍）

ズームするには再生を停止するか、一時停止します（➡54ページ）。

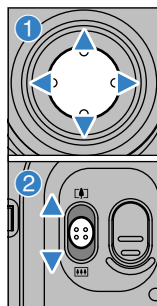
ズームレバーでズーム（等倍⇔拡大）します。

“BACK”ボタンでズームを解除します。

ズーム（拡大）再生

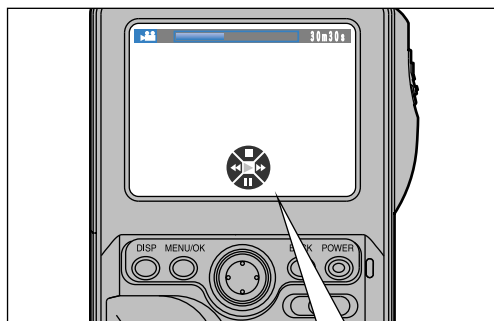
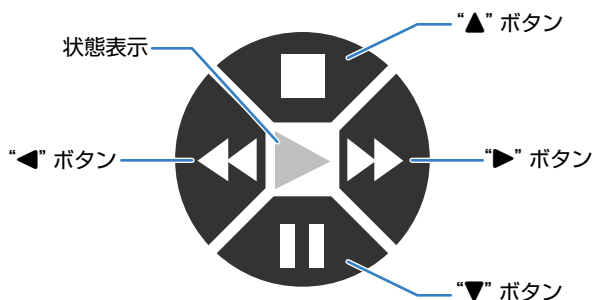
ズームしたまま再生できます。

“DISP”ボタンでズームと画面移動を切り換えます。

●ズーム倍率
640 640×480ピクセル動画：最大4倍
320 320×240ピクセル動画：最大2倍

❗ 動画の再生ズーム中はマルチ再生はできません。
❗ 動画の再生ズームで大きく拡大再生した時、画像がモザイク状に見える場合があります。

画面移動（見える範囲の移動）

❶“▲▼◀▶”で見える範囲を移動します。
❷ズームレバーでズーム（等倍⇔拡大）の調節をします。

画面移動中は動画を再生できません。“DISP”ボタンで“ズーム”に切り換えてから再生してください。

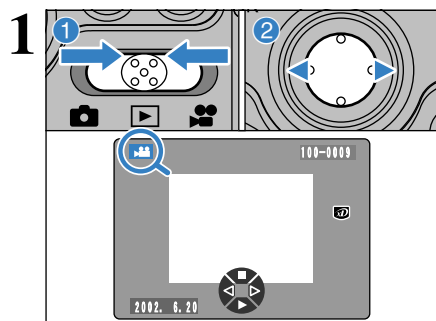
▶再生モード 円形ガイダンス（案内）表示について

動画の再生などでは画面下部に円形のガイダンス（案内）が表示されます。

ガイダンスの中央にカメラの状態が表示され、そのまわりに十字ボタンの“▲▼◀▶”に割り当てられた機能が表示されます。

▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止
◀◀ ▶▶	早送り、巻き戻し（早戻し）
⏮ ⏭	コマ送り、コマ戻し　❗一時停止中のみ
◁ ▷	次のファイルに送る、前のファイルに戻る
▲▼◀▶	選択や移動（上、下、左、右）

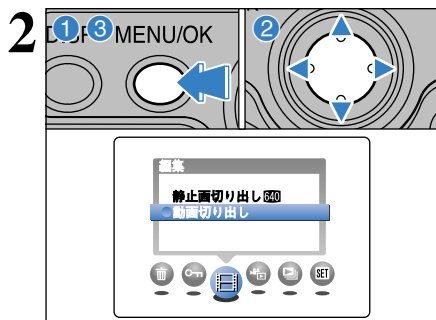
▶再生モード 🎞 編集　動画切り出し

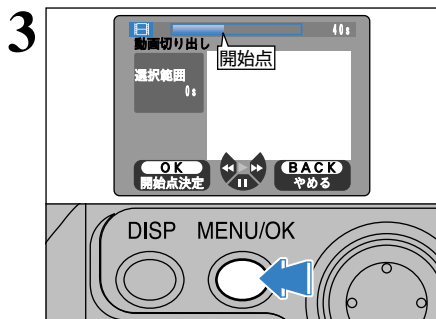
1秒単位での編集が可能です。元になる動画ファイルを変更せずに、必要な範囲を別ファイルとして保存できます。保存後のサイズ、フレームレートは元ファイルと同じです。ただし、編集を行うには十分な空きがメディアに必要です。

動画切り出し中に電源が切れると、編集中のファイルは保存されません。必ずACパワーアダプターをご使用ください。

1

❶モードスイッチを "▶" に合わせます。
❷"◀▶" で編集する動画ファイルを選びます。

動画ファイルは"🎥"のアイコンで表示されます。

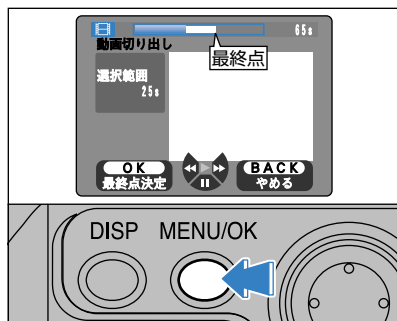
2

❶"MENU/OK" ボタンを押してメニューを表示します。
❷"◀▶" で "🎞" 編集を選び、"▲▼" で "動画切り出し" を選びます。
❸"MENU/OK" ボタンを押します。

3

編集を開始するシーン(再生位置)を決定します

動画を再生して編集を開始するシーンまで動画を送り、"MENU/OK" ボタンを押すと開始点が決定されます。

❗30フレーム/秒の動画でも編集中は15フレーム/秒で再生されますが、保存後の動画には影響ありません。

再生、早送り、巻き戻し、一時停止、コマ送りが可能です。

4

編集を終了するシーン(再生位置)を決定し保存します

動画を再生して編集を終了するシーンまで動画を送り、“MENU/OK”ボタンを押すと最終点を決定し、選択範囲が自動的に保存されます。

❗編集開始点よりも前のシーン(再生位置)には戻れません。

再生、早送り、巻き戻し、一時停止、コマ送りが可能です。

◆メディアに空き容量がないときは◆

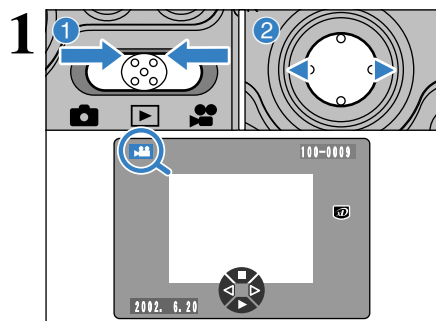
保存できる容量を超えて動画を選択したときに「これ以上記録できません」と表示されます。選択範囲を短くするには、“◀”を押して巻き戻します。そのまま保存するときは“MENU/OK”ボタンを押し、保存せずに編集を終了するときは“BACK”ボタンを押します。

■動画切り出しの再生操作方法

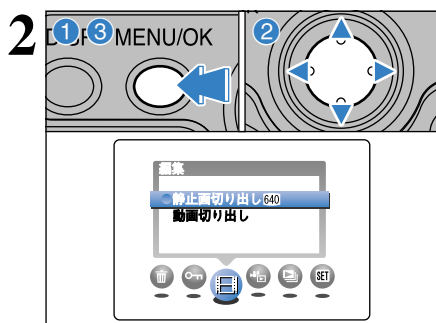
	操　作	説　明
再生/一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると自動的に停止します。再生中に操作すると一時停止します。
早送り/巻き戻し	◀ ▶	再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、早送り/巻き戻しします。詳しくは55ページ参照。
コマ送り	◀ ▶ 一時停止中	一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1秒ごとに送られます。

編集 静止画切り出し

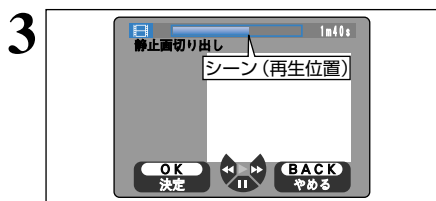
動画から静止画を切り出す機能です。元になる動画ファイルを変更せずに、動画のワンシーンを静止画(サイズ:640×480)として別ファイルで保存できます。

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”で編集する640(640×480)ピクセルの動画ファイルを選びます。

動画ファイルは“🎥”のアイコンで表示されます。

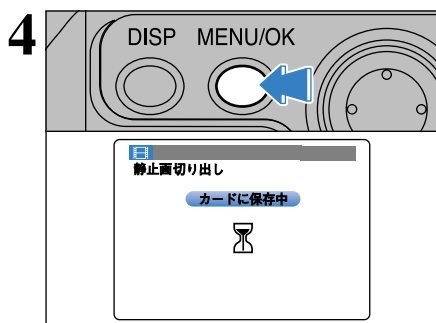
2

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎞”編集を選び、“▲▼”で“静止画切り出し”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

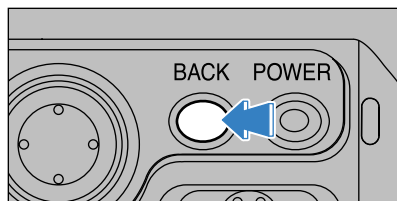
静止画の切り出しは、640(640×480)サイズの動画から行えます。320(320×240)ピクセルの動画を選んでいるときは警告音が鳴り、“静止画切り出し”を選べません。

3

静止画を切り出すシーン(再生位置)を決定します

動画を再生して編集を開始するシーンまで動画を送り、一時停止します。

再生、早送り、巻き戻し、一時停止、コマ送り、スロー再生が可能です。

4

“MENU/OK”ボタンを押すと静止画が保存されます。その後、**3**の手順に戻りますので、続けて静止画を切り出すシーンを探すことができます。

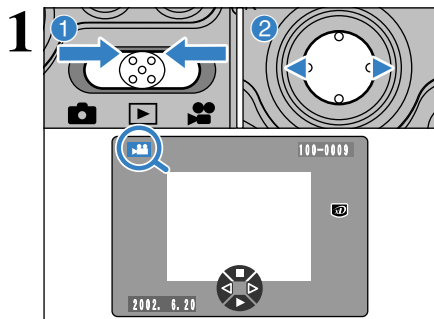
5

静止画切り出しを終了するには “BACK” ボタンを押します。
“BACK” ボタンを押すと静止画切り出しを終了し、1コマ再生に戻ります。そのとき切り出した最新の静止画が表示されます。

■静止画切り出しの再生操作方法

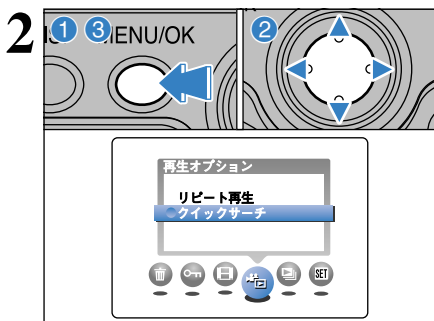
	操　　作	説　　明
再生/一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると自動的に停止します。再生中は一時停止します。
早送り/巻き戻し	◀ ▶	再生中に “◀” または “▶” を約1秒間押し続けると、早送り/巻き戻しします。詳しくは55ページ参照。
コマ送り	◀ ▶ 一時停止中	一時停止中に “◀” または “▶” を押すたびに1コマずつ送られます。
スロー再生	◀ ▶ 一時停止中	一時停止中に “◀” または “▶” を約1秒間押し続けると、スロー再生します。詳しくは55ページ参照。

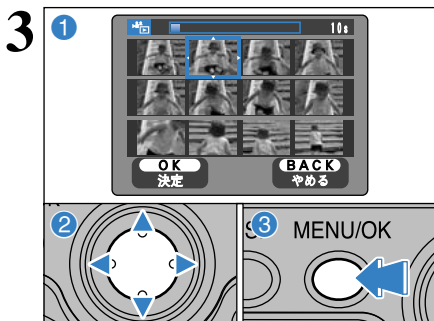
再生オプション　クイックサーチ(動画のシーン検索)

動画の再生を開始するシーンを、素早く視覚的に検索できる機能です。

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でクイックサーチする動画ファイルを選びます。

動画ファイルは“🎥”のアイコンで表示されます。

2

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎥▶”再生オプションを選び、“▲▼”で“クイックサーチ”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

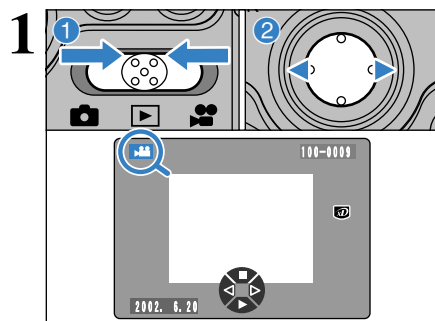
3

❶再生時間を等間隔に12のシーンに区切った画面が表示されます。
❷再生を開始するシーンを“▲▼◀▶”で選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押すと、選んだシーンから動画の再生を開始します。

❗再生時間の短い動画(約10秒)では、12のシーンにならないことがあります。

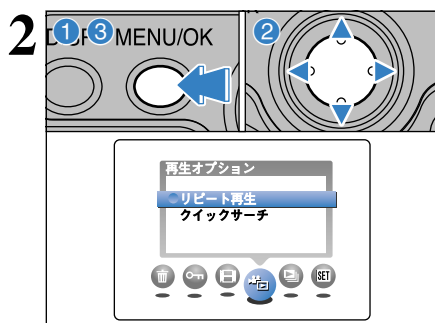
動画の再生操作方法(➡54ページ)。

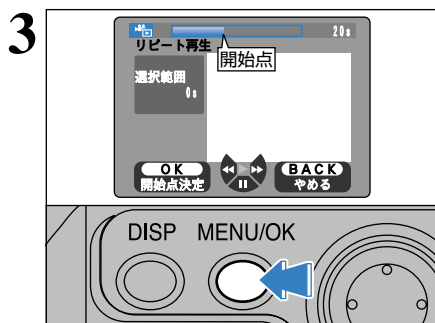
再生オプション　リピート再生（動画）

動画の選択した範囲を、繰り返し再生する機能です。

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でリピート再生する動画ファイルを選びます。

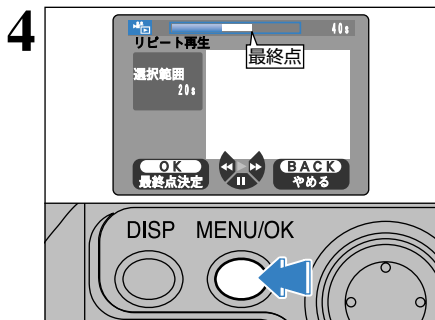
動画ファイルは“🎥”のアイコンで表示されます。

2

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎥”再生オプションを選び、“▲▼”で“リピート再生”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

3

リピートを開始するシーン（再生位置）を決定します

動画を再生してリピートを開始するシーンまで動画を送り、“MENU/OK”ボタンを押すと開始点が決定されます。

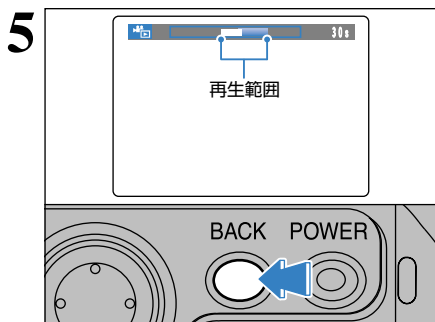
再生、早送り、巻き戻し、一時停止、コマ送りが可能です。

4

リピートを終了するシーン（再生位置）を決定します

動画を再生してリピートを終了するシーンまで動画を送り、“MENU/OK” ボタンを押すと最終点を決定し、選択範囲が自動的にリピート再生されます。

❗編集開始点よりも前のシーン（再生位置）には戻れません。

再生、早送り、巻き戻し、一時停止、コマ送りが可能です。

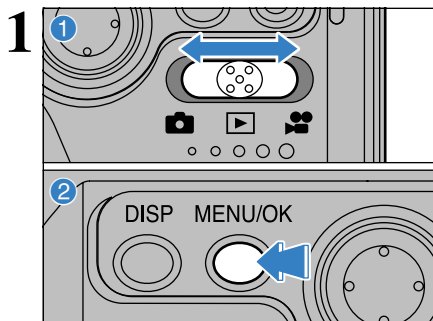
5

リピート再生中に “BACK” ボタンを押すと、リピート再生を終了します。

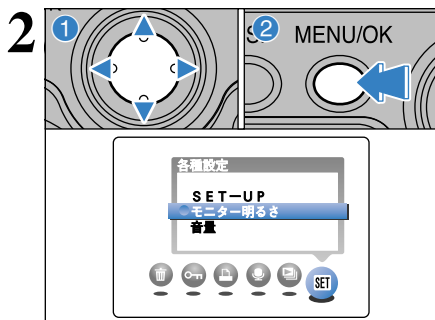
❗リピート再生中は、自動的に電源が切れません。バッテリーの残容量にご注意ください。また、バッテリーの消耗を防ぐため、ACパワーアダプターの使用をおすすめします。

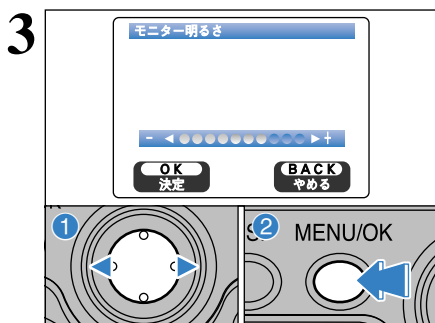
■動画の再生操作方法

	操　作	説　明
再生/一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると自動的に停止します。再生中に操作すると一時停止します。
早送り/巻き戻し	◀ ▶	再生中に “◀” または “▶” を約1秒間押し続けると、早送り/巻き戻しします。詳しくは55ページ参照。
コマ送り	◀ ▶ 一時停止中	一時停止中に “◀” または “▶” を押すたびに1秒ごとに送られます。

SET モニター明るさ調節/音量調節

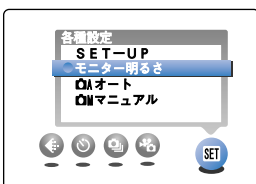
1

❶モードスイッチを“📷・▶・🎥”のいずれかに合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

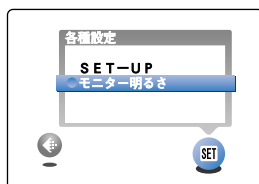
2

❶“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“モニター明るさ”または“音量”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

3

❶“◀▶”でモニター明るさまたは音量を調節します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して設定します。

◆各種設定のメニュー項目について◆

“SET”各種設定のメニュー項目は“📷・▶・🎥”のモードにより変わります。

●“📷”静止画撮影モード

●“▶”再生モード

●“🎥”動画撮影モード

SET－UP（セットアップ）

■SET－UPメニュー一覧

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
撮影画像確認	ON/OFF/プレビュー	ON	撮影後にプレビュー画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。詳しくは67ページ参照。
パワーセーブ	2分/5分/OFF	2分	何も操作していないときに消費電力を抑え、その後、自動的に電源を切るかどうか設定できます。詳しくは68ページ参照。
USB設定	カードリーダー/PCカメラ	カードリーダー	詳しくは69ページ参照。
日時設定	設定	－	日付、時刻を修正できます。詳しくは13ページ参照。
操作音	HIGH/OFF/LOW	HIGH	操作したときの音量を設定できます。
メディア	xD/MD	xD	xDピクチャーカード（xD）とマイクロドライブ（MD）が入っているときに、使用するメディアを設定します。
オールリセット	実行	－	日時設定以外のすべての設定を工場出荷設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、よければもう一度“MENU/OK”ボタンを押します。

SET セットアップ画面の操作

1

❶“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。
❷“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“SET－UP”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押し、SET－UP画面を表示します。

バッテリーを交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

2

❶“▲▼”で項目を選び、“◀▶”で設定を変更します。
❷変更後“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

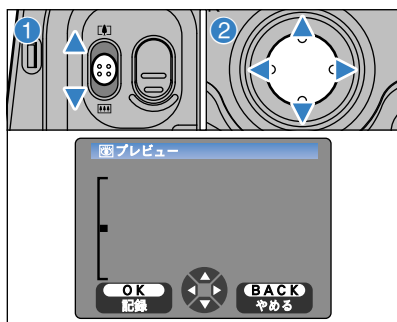
“日時設定”“オールリセット”は“▶”を押します。

撮影画像確認

撮影後に撮影結果を表示するかしないか設定できます。

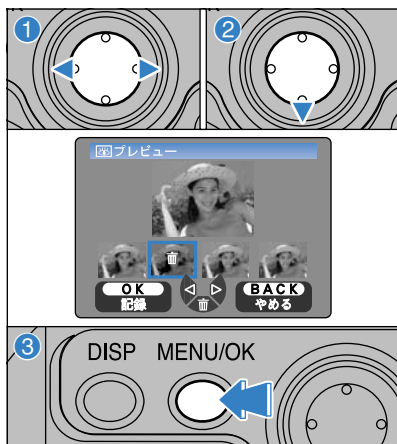
❗ MEGA連写時は、撮影結果が表示されません。
❗ 連写・サイクル連写では、“OFF”に設定しても一定時間表示され、自動的に記録されます。

ON　　　：撮影結果が約2秒間表示され、自動的に記録されます。
OFF　　　：撮影結果は表示されず、自動的に記録されます。
プレビュー：撮影結果が表示され、記録するかどうか選べます。
- 記録する　：“MENU/OK”ボタンを押します。
- 記録しない：“BACK”ボタンを押します。

また、プレビューズームや記録画像の選択が可能です。

プレビューズーム

プレビュー設定のとき、画像を拡大して細部の確認ができます。

❶ズームレバーでズームします。
❷“▲▼◀▶”で見える範囲を移動できます。

❗ プレビューではトリミング保存はできません。
❗ 再生ズーム（➡28ページ）と操作は同じです。

記録画像の選択

プレビュー設定のとき、連写・サイクル連写では画像を選んで記録できます。ただしプレビューズームはできません。

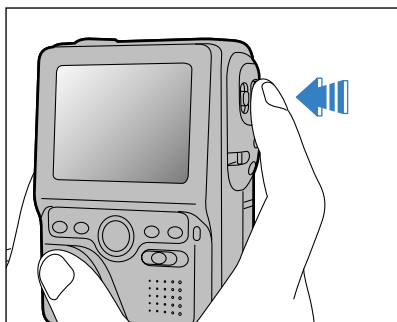
❶“◀▶”で記録しない画像を選びます。
❷“▼”で“🗑”マークが表示/非表示されます。
“🗑”マークを表示した画像は記録されません。記録しない画像すべてに“🗑”マークを表示します。
❸“MENU/OK”ボタンを押して画像を記録します。

設定編

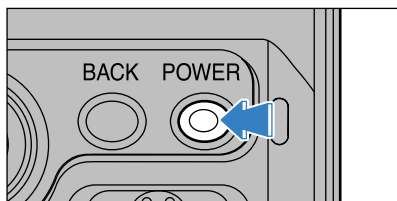
パワーセーブ

本機能を有効にすると、約30秒間操作をしないと一時的に画面などを消し、消費電力を抑えます（スリープ）。その後、しばらく放置（2分または5分）すると自動的に電源が切れます。バッテリーの駆動時間をできるだけ長くしたいときに使用します。

！オートプレイ、USB接続時はパワーセーブは無効になります。

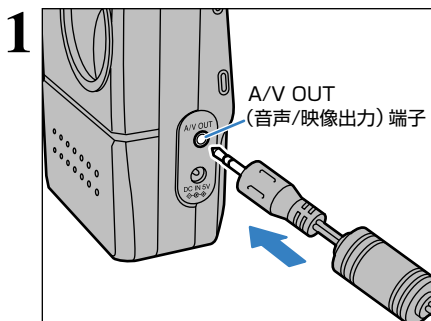
プレムービー、セットアップと再生モードではスリープは機能しませんが、しばらく放置（2分間または5分間）すると自動的に電源が切れます。

スリープしているときに、シャッターボタンを半押しすると、撮影可能状態に復帰します。素早く撮影可能になるので便利です。

！シャッターボタン以外のボタンでも復帰できます。

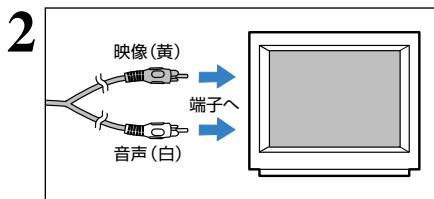
◆再度電源を入れるには◆

オートパワーオフ（2分間または5分間）したときは、POWER（電源）ボタンを押してください。

テレビに接続する/パソコンと接続する

テレビに接続する

1

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“A/V OUT(音声/映像出力)”端子にA/Vケーブル(付属品)のプラグを接続します。

❗コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプター AC-5Vを接続することをおすすめします。

2

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影、再生を行ってください。

❗テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

パソコンと接続する

USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。あわせて別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

カメラをパソコンに初めて接続する際は

接続する前に、ソフトウェアをすべてインストールしておく必要があります。
あわせてソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

CD-ROM
「Software for FinePix SX」

ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

メディアから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます(➡70ページ)。

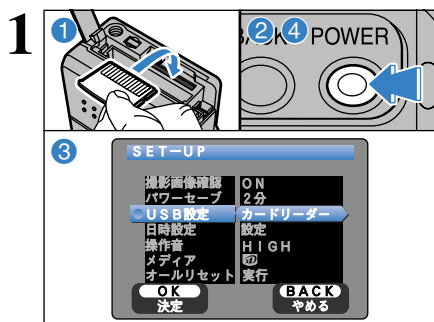
PCカメラ機能について

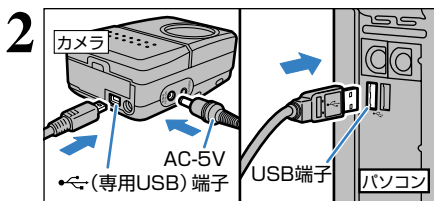
インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話(“PictureHello”)が楽しめます(➡71ページ)。

❗**テレビ電話(“PictureHello”)はMacintoshに対応していません。**

❗Mac OS X(Classic環境を含む)では、PCカメラ機能を利用できません。

カードリーダー接続方法

1

❶撮影したメディアをカメラにセットします。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。
❷POWER（電源）ボタンを押して、電源を入れます。
❸SET−UPの“USB設定”を“カードリーダー”にします（➡66ページ）。
❹POWER（電源）ボタンを押して、電源を切ります。

! xDピクチャーカードとマイクロドライブを同時にセットした場合は、SET−UPの「メディア」で設定されているメディアが使用されます（➡66ページ）。

2

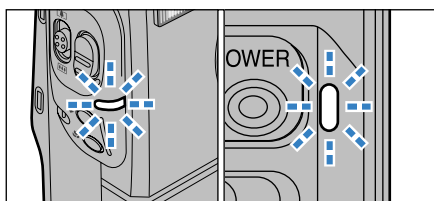
カメラ
AC-5V
•⊷（専用USB）端子
USB端子
パソコン

❶パソコンの電源を入れます。
❷専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
❸カメラの電源を入れます。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡72ページ）。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

! Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です（➡別冊のソフトウェア取扱ガイド）。
! 専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、インジケーターランプが緑/橙に交互点滅します。
- 画面には“カードリーダー”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

! メディアの交換は、必ず72ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
! 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、72ページをご参照ください。

パソコンの動作

- FinePixViewerが自動的に起動します。

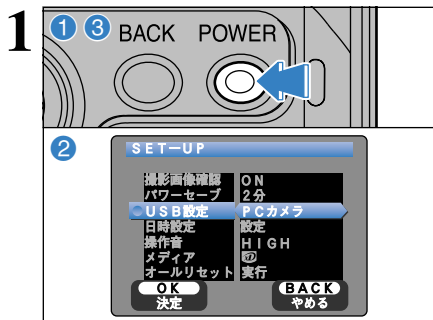
＊Windows 98 SE
の画面です。

- リムーバブルアイコンが表示され、パソコンでファイルの読み出し、書き込みができます。

Windows
リムーバブル ディスク

Macintosh
名称未設定

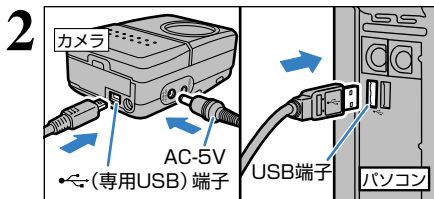
上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

PCカメラ接続方法

1

①③ BACK POWER

②
SET−UP
撮影画像確認 ON
パワーセーブ 2分
USB設定 PCカメラ
日時設定 設定
操作音 HIGH
メディア
オールリセット 実行
OK 決定
BACK やめる

ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

❶POWER(電源)ボタンを押して、電源を入れます。
❷SET−UPの“USB設定”を“PCカメラ”にします(➡66ページ)。
❸POWER(電源)ボタンを押して、電源を切ります。

2

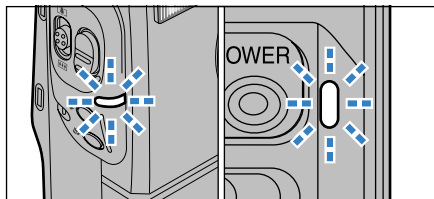
カメラ
AC-5V
•⇠(専用USB)端子
USB端子
パソコン

❶パソコンの電源を入れます。
❷専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
❸カメラの電源を入れます。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡72ページ)。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

! 専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、インジケーターランプが緑/橙に交互点滅します。
- レンズが広角側に固定されます。
- 画面には“PCカメラ”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

! USB設定をPCカメラにして電源を入れると、液晶モニターやテレビの画面の色味が変わることがあります。
! 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、72ページをご参照ください。

パソコンの動作

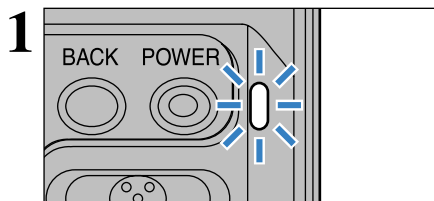
- FinePixViewerが自動的に起動し、PictureHelloが開きます(Windowsのみ)。

＊Windows 98 SE の画面です。

! PictureCradle(別売)の使用をおすすめします。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

1

❶カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。
❷インジケーターランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

カードリーダー接続の場合は、**2** に進みます。PCカメラ接続の場合は、**3** に進みます。

パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのインジケーターランプが緑色に点灯していることを確認してください。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

Windows 98/98 SE

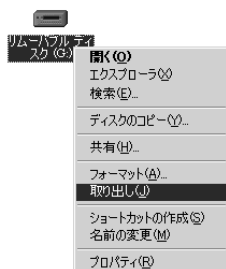
パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

❶マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。この操作はWindows Meのみ必要です。

❷タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

❸下図のメニューが表示されますので、メニュー上をクリックします。

USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

❹“ハードウェアの取り外し”ダイアログが表示されますので、“OK”ボタンかクローズボタンをクリックしてください。

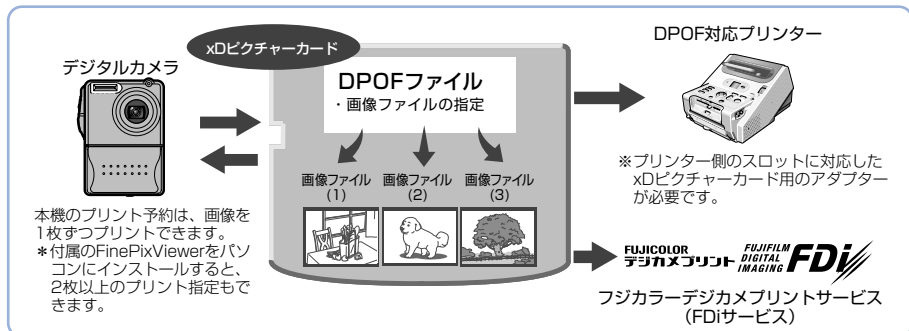
Macintosh

デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

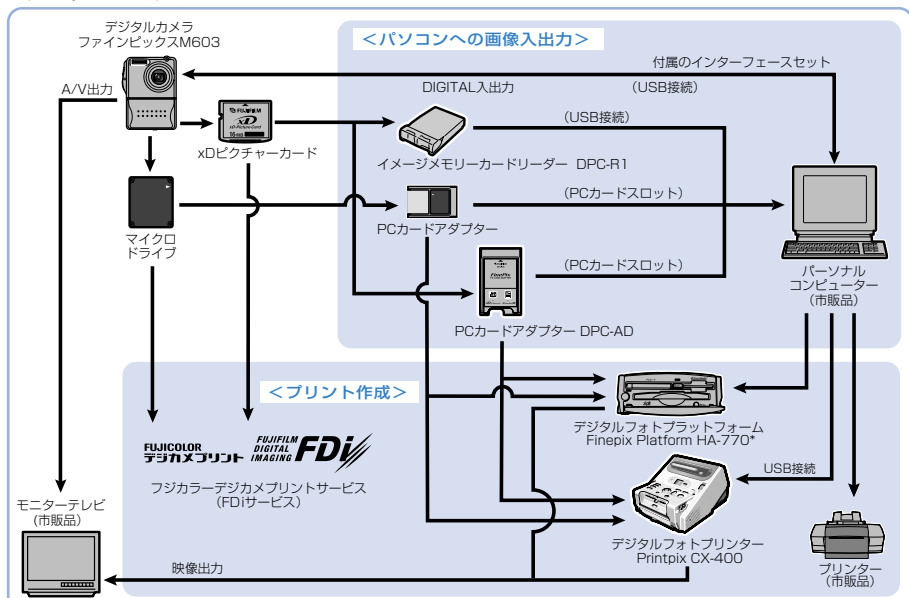
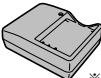
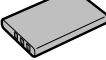
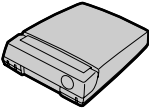
ゴミ箱にドラッグ＆ドロップすると、カメラの液晶モニターに“ REMOVE OK ”と表示されます。

3 カメラの電源を切り、専用USBケーブルを取り外します。

プリント予約（DPOF）について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をxDピクチャーカードなどに記録するときの形式です。

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でxDピクチャーカードに記録することができます。
- DPOF情報を記録したxDピクチャーカードを、フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

システムアップ機器（別売）（平成14年11月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様に、プリント取り扱い店でプリントできます。

＊ HA-770ではFinePix M603の画像データに対してプリント予約することはできません。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成14年11月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

●イメージメモリーカード（xDピクチャーカード）
以下の種類がお使いいただけます。
- DPC-16（16MB）　　● DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）　　● DPC-128（128MB）

※すべてオープン価格

●マイクロドライブキット MK-1/MK-2
IBM製の小型のハードディスクドライブで、容量が340MB/1GBあり、大量の画像を保存することができます。
専用PCカードアダプターが付属しています。

※すべてオープン価格

●バッテリーチャージャー BC-65
充電式バッテリーを短時間で充電します。充電時間は約2時間です(NP-60充電時)。
（AC100V〜240V、50/60Hz対応）

※6,800円

●充電式バッテリー NP-60/NP-120
NP-60は、リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。
NP-120は、リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

※NP-60：5,000円/NP-120：6,000円

●ACパワーアダプター AC-5VH
長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100〜240V、50/60Hz対応）

※4,000円

●PictureCradle CP-FX603
ACパワーアダプターやUSBケーブルを接続しておくと、カメラをのせるだけで充電やパソコン接続が手軽にできます。

※6,500円

●ソフトケース SC-FX603
牛革製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※3,000円

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1
イメージメモリーカード（xDピクチャーカード、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。
- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP

- iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD
xDピクチャーカードあるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。
- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5）

※オープン価格

●イメージメモリーカードリーダー DM-R1
イメージメモリーカード[スマートメディア、コンパクトフラッシュタイプ Ⅱ（マイクロドライブ対応）]からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。IEEE1394インターフェースにより高速なファイル転送を行います。
- Windows 98 Second Edition、Windows 2000 Professional（読み出し専用）、iMac DV、およびFireWireを標準装備するPower Macintosh、Mac OS 8.5.1〜9.1

※オープン価格

●デジタルフォトプラットフォームHA-770
スマートメディア、PCカード、Zip 3スロット装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン*、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。xDピクチャーカードを使用するには、PCカードアダプターDPC-ADが必要です。
*パソコン接続はUSBインターフェース（対応OS：Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional、Mac OS 8.5.1〜9.1）

※49,800円

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水・浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺・水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メディアに水滴がつくことがあります。このようなときはメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリー、メディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面は傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

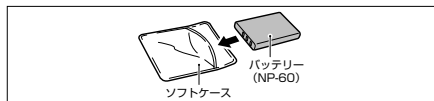
- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

バッテリー NP-60についてのご注意

本機は、充電式リチウムイオンバッテリー NP-60を使用しています。ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。特に別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

*NP-60は出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- NP-60を持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、付属の専用ソフトケースに入れてください。
- NP-60を保管するときは、付属の専用ソフトケースに入れて保管してください。

■バッテリーの特性

- NP-60は使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したNP-60を用意してください。
- NP-60を長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備のNP-60をご用意ください。また、使用時間を長くするために、NP-60をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接NP-60に触れないようにご注意ください。低温時に消耗したNP-60を使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- ACパワーアダプター AC-5V（付属または別売）を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-60の+23℃での充電時間は約3時間です。
  - 充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。+10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-60の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
  - 0℃以下の温度では充電できません。
- 別売のバッテリーチャージャー BC-65を使用して充電ができます。
  - 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-60の+23℃での充電時間は約2時間です。
  - 充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。+10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-60の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
- NP-60は充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、NP-60が熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したNP-60を再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、NP-60の寿命です。新しいNP-60をお買い求めください。

電源についてのご注意

保存上のご注意

充電式リチウムイオンバッテリー NP-60は小形で高容量のバッテリーですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。

- しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 専用ソフトケースに入れて、涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が＋15℃～＋25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

⚠バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

⚠火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

⚠分解したり、改造したりしないでください。

壊れたり、寿命が短くなったりしますので、次のことにご注意ください

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。

バッテリーの特性に合わせて上手にお使いいただくために、次のことにご注意ください

- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 温度が上がらない、乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置いておくと寿命が短くなります。

長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

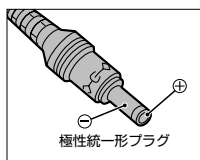
このマークは小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーなど）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

付属のNP-60の主な仕様

公称電圧	3.7V
公称容量	1035mAh
使用温度	0℃～＋40℃
本体外形寸法	35.2mm×53mm×7.0mm
質量	約30g

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

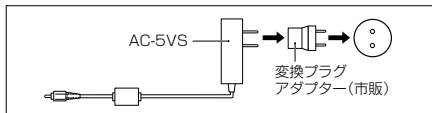
ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用のACパワーアダプター AC-5V（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。

弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

- 室内専用です。
- DC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- 接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

海外へお持ちになる方へ

定格表示が、AC100V～240V、50/60Hzと表示されているACパワーアダプターは、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地様々ですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

ACパワーアダプターを海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに接続しますと、故障することがありますので、ご使用にならないでください。

AC-5VSの主な仕様

電源	AC100V～240V、50/60Hz
定格入力容量	16VA～20VA （入力100V～240V、定格出力時）
定格出力	DC 5V、1.5A
使用温度	0℃～＋40℃
保存温度	－10℃～＋70℃
最大外形寸法	47mm×20mm×72mm （幅/高さ/奥行き）
質量	約120ｇ
接続コード長さ	約2m

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

メディア(xDピクチャーカードおよびマイクロドライブ)についてのご注意

■xDピクチャーカードについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card(xDピクチャーカード)です。xDピクチャーカードの中には、半導体メモリー(NAND型フラッシュメモリー)が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。
xDピクチャーカード 個々にはID(番号)が割り振られています。IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。

■マイクロドライブについて

Microdrive(マイクロドライブ)は小型/軽量のハードディスク・ドライブでCF+Type Ⅱに準拠しています。大量の画像ファイルが記録でき、1MB当たりの記録コストも低減するため、高画質な画像をより経済的に保存することができます。

■ファイル保持について

以下の場合、記録したファイルが消滅(破壊)することがあります。記録したファイルの消滅(破壊)については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がメディアの使いかたを誤ったとき
＊メディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊記録動作中・消去(フォーマット)動作中にメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき
＊メディアを曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしたとき

大切なファイルは別のメディア(MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■メディアに共通の取扱上のご注意

- メディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メディアの記録中・消去(フォーマット)中は、絶対にメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メディアが破壊されることがあります。
- メディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。

■xDピクチャーカードの取扱上のご注意

- xDピクチャーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。
  乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
  万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 指定以外のxDピクチャーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 保管や持ち運びする場合は専用のケースに入れることをおすすめします。
- 静電気を帯びたxDピクチャーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したxDピクチャーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- xDピクチャーカードには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- xDピクチャーカードにはラベル類は一切はらないでください。xDピクチャーカードの出し入れの際、故障の原因になります。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいxDピクチャーカードとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■マイクロドライブの取扱上のご注意

- マイクロドライブのラベルに記入しないでください。
- マイクロドライブのラベルをはがさないでください。
- マイクロドライブにラベルを重ねてはらないでください。
- マイクロドライブの持ち運びや保管時は、マイクロドライブ同梱の専用保護ケースに入れてください。
- 取り出し機能のないCF+Type Ⅱスロットでは使用しないでください。
- 長時間使用すると熱くなることがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 強い磁気のそばに近づけないでください。
- ぬらさないでください。
- カバーを強く押さないでください。

■メディアをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメディアを使って撮影する場合、メディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- メディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメディアのフォルダ名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。メディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- メディア上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
- カメラで使用するファイル以外のコピーはしないでください。

xDピクチャーカードの主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card(xDピクチャーカード)
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下(結露しないこと)
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm (幅/高さ/厚み)

マイクロドライブの主な仕様

形　　式	CF+™ Type Ⅱ
動作電圧	3.3V、5V
使用条件	温度 +5℃～+40℃ 湿度 8%～90%以下(結露しないこと)
外形寸法	42.8mm×36.4mm×5mm (幅/高さ/厚み)

警告表示

▶画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　置
（赤点灯） （赤点滅）	カメラのバッテリーの残容量が少ない。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
!	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影してください。ただし、撮影シーンやモードによっては三脚を使用してください。
!AE	AE連動範囲外。	適性露出ではありませんが、撮影できます。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	●暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●AFロック撮影をしてください。
カードがありません	メディアが入っていない。	●xDピクチャーカードを正しい向きにセットしてください。 ●マイクロドライブを正しくセットしてください。
フォーマットされていません	●メディアがフォーマット（初期化）されていない。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。	●メディアをフォーマットしてください。 ●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	●メディアが正しくセットされていない。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●メディアが壊れている。 ●メディアのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	●メディアを奥まで差し込み、ロックされるのを確認してください。 ●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	メディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるメディアを使用してください。
再生できません	●正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。 ●マイクロドライブから動画を再生中にカメラに衝撃が加わった。	●再生することはできません。 ●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●電源を入れ直すか、またはコマ送り/戻しをしてください。
コマＮＯ．の上限です	コマNo.が999―9999に達している。	フォーマットしたメディアに撮影してください。

警告表示	警告内容	処　置
記録できませんでした	●メディアと本体の接触異常またはメディアの異常のため記録できない。 ●撮影した画像がメディアの空き容量を超えて記録できない。	●メディアを入れ直すか電源のON（入）/OFF（切）を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しいメディアを使用してください。
ボイス再生できません	●ボイスメモファイルが異常。 ●カメラが故障している。	●ボイスメモを再生することはできません。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。
プリント予約されています このコマを消去 OK？ プリント予約されています 全コマ消去 OK？	削除しようとした画像はプリント指定されている。	画像を削除すると、DPOF指定項目からも同時に設定が削除されます。
プリント予約再設定 OK？	●すでにプリント予約されている。 ●DPOFファイルにエラーがある。または他の機器で設定したDPOFファイルである。	DPOFファイルを新しく作成し、プリント予約をすべてやり直す場合は“MENU/OK”ボタンを押してください。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一xDピクチャーカード内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。999コマ以下にしてください。
ズームエラー フォーカスエラー	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
レンズカバーが開いていません	レンズカバーに異常。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメディアで撮影したため、記録が間に合わなくなった。	カメラでフォーマットしたメディアをお使いください。
メディア保護のため しばらく撮影できません	マイクロドライブの温度が高い状態で動画を撮影しようとした。	電源を切り、温度が低下するまで約30分間使用を中止してください。ただし、静止画の撮影は可能です。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
充電しようとしたが、セルフタイマーランプが点灯しない。	●バッテリーが入っていない。 ●カメラとACパワーアダプターが正しく接続されていない。	●バッテリーを入れてください。 ●正しく接続してください。
充電時にセルフタイマーランプが点滅して充電できない。	●バッテリーの端子が汚れている。 ●バッテリーの故障、もしくは寿命。 ●スロットカバーが正しく閉まっていない。	●バッテリーをいったん取り出して入れ直してください。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。 ●スロットカバーを正しく閉めてください。
電源が入らない。	●バッテリーが消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。 ●バッテリーが逆に入っている。 ●スロットカバーが正しく閉まっていない。	●充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●バッテリーを正しい方向に入れてください。 ●スロットカバーを正しく閉めてください。
電源が途中で切れる。	バッテリーが消耗している。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
バッテリーの消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●バッテリーの寿命。	●バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●充電済みのバッテリーと交換してください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●メディアが入っていない。 ●メディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●メディアがフォーマットされていない。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●メディアが壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が切れた。 ●バッテリーが消耗している。	●メディアを入れてください。 ●新しいメディアを入れるか、不要なコマを消去してください。 ●フォーマットしてください。 ●xDピクチャーカードの接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しいメディアを入れてください。 ●電源を入れてください。 ●充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
ストロボ撮影できない。	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●ストロボ発光禁止になっている。	●充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にします（ストロボ撮影できないモードがあります）。
ストロボを発光禁止以外に設定できない。	連写が設定されている。	連写をOFFに設定してください。
ピクセルが“1M”しか選べない。	●撮影メニューの感度が800または1600（高感度撮影）に設定されている。 ●撮影メニューの連写がMEGA連写に設定されている。	●撮影メニューの感度を400以下に設定してください。 ●撮影メニューの連写をMEGA連写以外に設定してください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
ストロボが発光したのに撮影した画像が暗い。	● 被写体が遠い。 ● ストロボ/ストロボ調光センサーに指が掛かっている。	● ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ● カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	● レンズが汚れている。 ● マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ● マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ● オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	● レンズを清掃してください。 ● マクロを解除してください。 ● マクロを設定してください。 ● AF/AEロック撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター（長時間露光）で撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。
カメラから音が出ない。	● カメラの音量設定が小さくなっている。 ● 撮影/録音中にマイクをふさいでいる。 ● 再生中にスピーカーをふさいでいる。	● 音量を調節してください。 ● 撮影/録音時はマイクをふさがないでください。 ● スピーカーをふさがないでください。
1コマ消去でコマが消せない。 全コマの消去で、すべてのコマが消せない。	● プリント予約されている。 ● コマがプロテクトされている。	● プリント予約を“なし”に設定してください。 ● プロテクトを解除してください。
テレビに画像、音声が出ない。	● ムービー再生中にA/Vケーブルを接続した。 ● カメラとテレビの接続が間違っている。 ● テレビの入力が「テレビ」になっている。 ● テレビの音量が小さくなっている。	● 正しく接続し直してください。 ● 正しく接続し直してください。 ● テレビの入力を「ビデオ」にしてください。 ● 音量を調節してください。
PC（パソコン）接続で、カメラの液晶モニターに撮影画面が表示される。	● PCまたはカメラにFinePix M603専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ● PCの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● PCの電源を入れてください。
カメラのスイッチを操作しても作動しない。	● カメラの誤作動。 ● バッテリーが消耗している。	● バッテリー、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ● 充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
カメラが正常に作動しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	バッテリー、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
動画を連続して撮影できない。	“メディア保護のため、しばらく撮影できません”の警告が表示されていませんか。	電源を切り、温度が低下するまで約30分間使用を中止してください。ただし、静止画の撮影は可能です。

主な仕様

システム

●**型式**：デジタルカメラ
●**有効画素数**：310万画素
●**記録メディア**：xDピクチャーカード
：マイクロドライブ
●**記録方式**
静止画：DCF準拠(Exif Ver.2.2 JPEG準拠)/DPOF対応
動　画：DCF準拠(AVI形式 Motion JPEG)
音　声：WAVE形式
●**記録画素数(ピクセル)**
静止画：2832×2128/2048×1536/1280×960/640×480
ハニカム信号処理により最大2832×2128(約603万画素)
動　画：640×480(30フレーム/秒、15フレーム秒)/320×240(15フレーム/秒)
●**撮像素子**：1/1.7型スーパーCCDハニカム
原色フィルター採用(総画素数：330万画素)
●**撮像感度**：ISO 160、200、400/800、1600(1Mのみ)
●**レンズ**：スーパーEBC フジノン光学式2倍ズームレンズ
●**焦点距離**：8.7mm～17.4mm
(35mmカメラ換算：約38mm～約76mm相当)
●**露出制御**：TTL64分割測光、プログラムAE、マニュアル撮影モード時露出補正可能
●**ホワイトバランス**
オート(マニュアル時：7ポジション選択可能)
●**撮影可能範囲**
静止画　標　準：約60cm～無限遠
マクロ：約20cm～約80cm
動　画　広角側：約10cm～無限遠
望遠側：約20cm～無限遠
●**シャッター**
可変速　1/4秒～1/2000秒(メカニカルシャッター併用)
●**絞り**：F3.2/F4/F5.2/F6.8/F8.8/F11(自動切り換え)
●**フォーカス**：TTLコントラスト方式　オート
●**セルフタイマー**：タイマー時間　約10秒
●**消去方式**：1コマ消去·全コマ消去·フォーマット(初期化)
●**液晶モニター**：2.5型 11.8万画素 低温ポリシリコンTFT
●**ストロボ**：調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離　広角：約0.6m～約4.0m
望遠：約0.6m～約3.0m
発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/スローシンクロ/発光禁止

■**メディア標準撮影枚数/記録時間**　撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数はメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル(画質)	6M 6M·F	6M 6M·N	3M 3M	1M 1M	03M 0.3M	640 (30フレーム/秒)	640 (15フレーム/秒)	320 (15フレーム/秒)
記録画素数	2832×2128 (約603万)		2048×1536 (約315万)	1280×960 (約123万)	640×480 (約31万)	ムービー		
画像1枚のファイルサイズ	約2.4MB	約1.2MB	約590KB	約320KB	約130KB	—	—	—
DPC-16(16MB)	6	13	26	49	122	約13秒	約26秒	約52秒
DPC-32(32MB)	13	28	53	99	247	約27秒	約54秒	約 1分46秒
DPC-64(64MB)	26	56	107	198	497	約55秒	約 1分49秒	約 3分33秒
DPC-128(128MB)	53	113	215	398	997	約 1分51秒	約 3分40秒	約 7分 7秒
MK-1(340MB)	147	311	589	1119	2729	約 5分 5秒	約10分 2秒	約19分29秒
MK-2(1GB)	443	938	1729	3285	8213	約15分19秒	約30分12秒	約58分39秒

入・出力端子

●**DC入力端子**：専用ACパワーアダプター AC-5VS接続
●**専用USB端子**
パソコンへのファイル転送、および別売のクレードルと接続
●**A/V OUT端子**：ステレオミニミニ(φ2.5mm)ジャック

電源部、その他

●**電源**
充電式バッテリーNP-60(付属)/NP-120(別売)、または専用ACパワーアダプターAC-5VS使用
●**使用条件**
温度0℃～+40℃　湿度80%以下(結露しないこと)
●**バッテリー作動可能枚数/時間(フル充電時)**

メディアの種類 ＼ バッテリーの種類		NP-60	NP-120
xDピクチャーカード	静止画撮影枚数	130枚	230枚
	再生時間	120分	190分
マイクロドライブ	静止画撮影枚数	120枚	220枚
	動画撮影時間	50分	90分
	再生時間	70分	140分

撮影枚数は常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる目安です。ただし、カメラの使用環境温度やバッテリー充電量のバラツキによる変動があります。低温時では作動可能枚数が少なくなります。

●**本体外形寸法**：
64.5mm×93.3mm×31.6mm(幅/高さ/奥行き)
＊付属品、突起部含まず
●**本体質量**：約210g
(付属品、バッテリー、xDピクチャーカードまたはマイクロドライブ含まず)
●**撮影時質量**：約240g
(バッテリーNP-60、xDピクチャーカード含む)
●**付属品**：5ページをご覧ください。
●**別売アクセサリー**：74ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により、撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV
: 露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式
: Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）
: Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率は選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）
: 画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマットAVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：Windows Media Player　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

VGA/QVGA
: PCのグラフィック標準のひとつであり、画像サイズが640×480ピクセル/320×240ピクセルを表します。

WAVE（ウェイブ）
: 音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。
記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：Windows Media Player
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

スミア
: 撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写るCCD特有の現象。

フレームレート
: フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、本機の動画ファイルは1秒間に10コマを連続して撮影しており、この場合は10フレーム/秒と記します。
参考　テレビは約30フレーム/秒です。

ホワイトバランス
: 人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社DIサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただく
②弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
④お買上げ店にお持ちいただく
なお、集配ルートの都合上、④の方法よりは、①もしくは②、③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①の場合のサービス料金、②④の場合の交通費、③の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。なお、お見積もりは有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただいた場合
修理完了品は、代金引換となりますので、サービス料金とともに、運送業者に直接現金でお支払いください。
②弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理）
修理完了品お引き取り時、窓口でお支払いください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
修理完了品は、代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
④お買上げ店にお持ちいただいた場合
お持ちいただいたお店にご確認ください。

FinePix M603 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速・適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

フ リ ガ ナ		電 話 番 号	
お 名 前		ファクス番号	
ご 住 所	〒 ―		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8けたの番号です。修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		
修理品への添付			
□保証書 □xDピクチャーカード（ MB）	□バッテリー		
□（ ）	□（ ）		
□（ ）	□（ ）		
故障内容（故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください。）			
お 見 積 も り	□必要（修理金額 円以上見積もり） □不要		
お見積もり連絡方法	□電話 □ファクス		

※本紙はコピーしてお使いください。

■修理の受付は…

修理品の「FinePixクイックリペアサービス」・「送付修理」・「持込修理」の申し込み方法、受付場所を記載します。
下記に記載する修理サービスにおける修理品お預かり期間は、お買上げ店へお持ちいただく場合よりも、はるかに短くなります。

●【FinePixクイックリペアサービス】：お預かりからお届けまでが最短3日の修理サービスです。

・「お預かり」-「梱包」-「修理」-「お届け」までをワンパックにしたサービスです。
・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了後にご自宅までお届けします。
・全国一律のサービス料金（保証期間内外を問わずお客様にご負担いただきます。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です）。
・料金の支払いは、修理品お届け時に、当社指定宅配業者に直接現金でお支払いください。
・サービスの申し込みは、インターネット・電話・ファクスのいずれかの方法から選択してください。

＊インターネット：http://www.fujifilm.co.jp/qa.html　＊専用電話：03-3436-2224　＊専用ファクス：03-3431-3470

※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/repair.html）をご覧ください。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

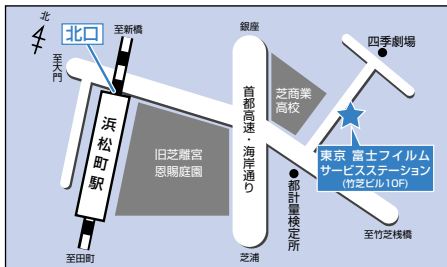
・下記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
・東京もしくは大阪のサービスステーションにお送りいただいた場合のみ、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）で修理完了予定日を検索することができます。

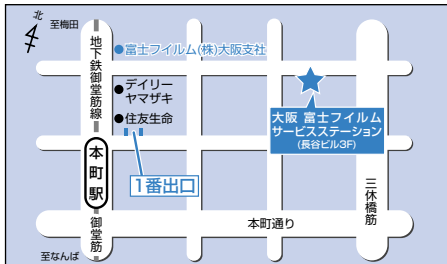
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

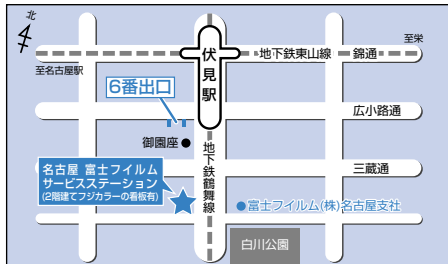
●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40
・サービスステーションは、土・日・祝日・年末年始は休業させていただきます。その他夏期など休業させていただく場合があります。
・有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。
・東京もしくは大阪のサービスステーションにお持ちいただいた場合のみ、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）で修理完了予定日を検索することができます。
・本書に地図の記載がないサービスステーションは、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）をご覧ください。
・東京、大阪のフォトサロンは、上記7カ所のサービスステーションに加えて、修理品の受渡し業務のみを行っております。ただし、修理は行っておりませんので、お急ぎのお客様は上記7カ所のサービスステーションにお持ちください。

東　京：富士フォトサロン	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
大　阪：富士フォトサロン	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00
＊土曜日は修理品の受渡し業務のみ行っております。

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915
【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851
【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

●修理の受付は…

本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

この用紙は、再生紙
を使用しています。

FGS-204110-FG